

PROBLEM PARADISE

Issue 86

Vol.22

April-June 2019



Journal of Japanese Chess Problem Society

Contents

Orthodox	……1
Endgame	……6
Helpmate	……11
Selfmate	……21
Fairy	……23
Retro	……38
Shogi	……43
Problem Paradise Informal Tourney Award (Studies 2018)	……47
Definitions	……55
第 84 号解答成績	……59
第 81-84 号解答通算成績	……60

各セクションごと、および全体で、1 題 5 点として成績を集計します。オーソドックスの #2 以外の作品については、主要変化と思われるものをすべて記入してください。短評大歓迎。各セクションごとに別紙を使用し、それぞれに氏名を記入すること。締め切りは **2019 年 7 月 31 日** 消印有効。宛先は Solution Editor の若島まで。また、作品の投稿は直接に担当者へ。

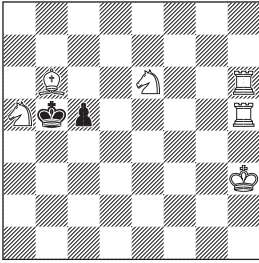
All solutions should be sent to the Solution Editor Tadashi Wakashima (Niina 7-8-13, Minoh-shi, Osaka 562-0005, Japan) before **July 31, 2019**. Please write down your solutions of each section in separate sheets. Solutions and comments by e-mail (tadashi@hcn.zaq.ne.jp) are most welcome. All originals should be submitted to the sub-editors. Their names and (e-mail) addresses are given on the back cover. Computer-tested problems are indicated by C+.

第 86 号をお届けします。

母が手術、入院という事態になり、どうなることかと思いましたが、なんとか予定どおりに発行することができました。

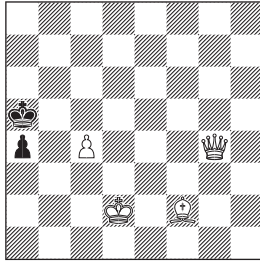
作品投稿、解答をお待ちしています。

D487R Aleksandr Pankratyev
C+ (Russia)



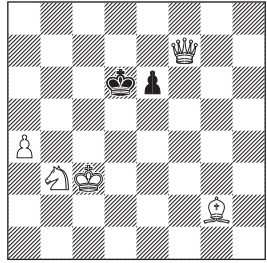
#3 (6+2)

D505 Victor Zheltukhov
C+ (Russia)



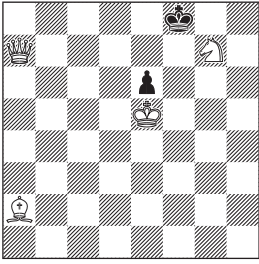
#2 (4+2)

D506 Victor Zheltukhov
C+ (Russia)



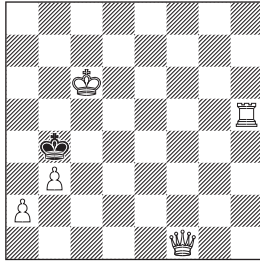
#2 (5+2)

D507 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



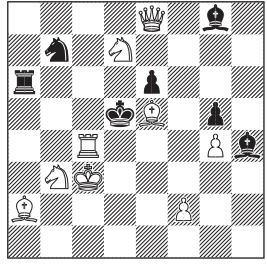
#2 (4+2)

D508 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



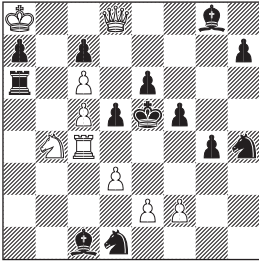
#2 (5+1)

D509 Aleksandr Pankratyev
C+ (Russia)



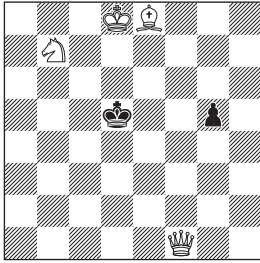
#2 (9+7)

D510 Leonid Makaronez
C+ (Israel)



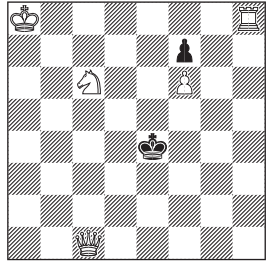
#3 (9+13)

D511 Petrasin Petrasinovic
C+ (Serbia)



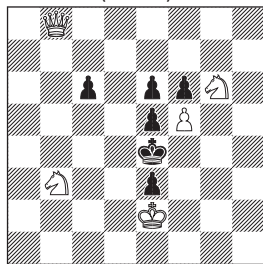
#3 (4+2)

D512 Petrasin Petrasinovic
C+ (Serbia)



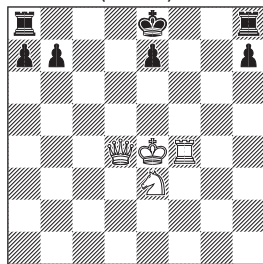
#4 (5+2)

D513 Petrasin Petrasinovic
C+ (Serbia)



#4 (5+6)

D514 Victor Zheltukhov
C+ (Russia)



#6 (4+7)

Orthodox

Orthodox Editor

Yuji Kikuta (菊田裕司)

Judge 2018-2019

Mike Prcic (USA)

宮嶋：あざやかな詰上がり。

星野：上下対称で待つのがポイント

九尾：駒取りは見えにくいですね。

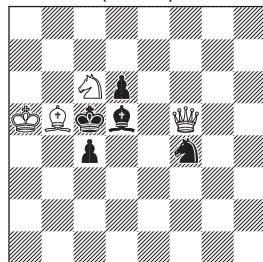
井上：Q をどこに動かすかを考えた。駒取りのキーは予想外。

☆なんてことはない #2 ですが、駒取りは意外に見えにくかったようです。

[○9△0×0-1]

Issue 84 (D482-493)

D482 Aleksandr Pankratyev
C+ (Russia)



#2 (4+5)

1.Bxc4 ! waiting

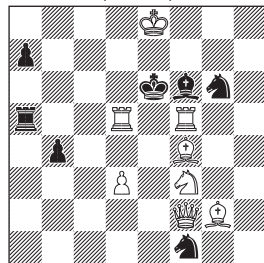
1...Sf4~~/Kxc6/Kxc4 2.Qxd5/Qc8/Qc2#

小林：これ以外見当たらない。f4S 不要？

☆ないと 1.Qf2# でいきなり詰んでしまいます。

内田：使用駒 9 枚の #2 に苦戦

D483 Aleksandr Pankratyev
C+ (Russia)



#2 (8+7)

1.Be5! (2.Sd4#) 1...Kxf5/Rxd5/Bxe5/Kx5

2.Bh3/Rxf6/Sg5/Sg5#

井上：キーよりスレットが見つげにくかった。

小林：前題と同じ雰囲気と思ったら、同じ作者でしたネ。

星野：ピンポイントでここに捨てたくなる。

Rxd5 や Kxf5 の応手も楽しい。

九尾：白のポーンがあるので、d5 のルークを

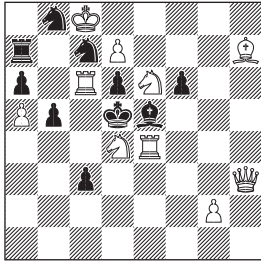
取られても大丈夫だろう……というのがヒント
でした。

☆ 1...Bxe5 と 1...Kxd5 の変化で 2.Sg5# が
同じなのが残念なところです。

☆ 1.Qb2? の誤解がありましたが、1...Be5!
で逃れます。

[○ 9 △ 0 × 1 - 0]

D484 Aleksandr Pankratyev
C+ (Russia)



#2 (10+10)

1.Sf5! (2.Se7#) 1...Sxc6/Kxe6/Kxe4
2.Se3/Bg8/Qf3#

九尾：いろいろ考えたものの、Pf5の受けに困
りました。まさかこんなにあっさり防げると
は！

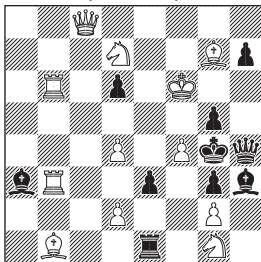
内田：新鮮で面白い

☆ いっぺんに3つの逃げ道を与え、しかも主
要な駒が取られるようになる 1.Sf5 のキーは
いい感じです。

☆ 1.Qf5 ? (2.Sf4#) の誤解がありましたが、
1...Sxc6 ! で逃れます。

[○ 6 △ 0 × 1 - 3]

D485 Gheorghe Tanase
C+ (Romania)



#3 (12+10)

1.Ke7! (2.Sf6+ Kxf4 3.Sd5#)
1...exd2+ 2.Se5+ Kh5/Kxf4 3.Qe8/Rf3#
1...Kxf4 2.Qf8+ Bf5/Kg4 3.Qxf5/Qf3#
1...d5+ 2.Sc5+ Kh5/Kf4 3.Rh6/Be5#
(1...gxf4+ 2.Sf6+ Kg5 3.Sf3#)
(1...Rxb1 2.Sf6+ Kxf4 dxe3#)
(1...Bxg2 2.Sf6+/Se5+)
(1...Qh5(Qh6) 2.Sf6+ Kh4 3.Qxh3#)

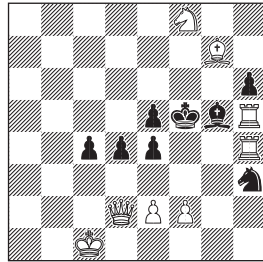
☆ わざわざ白 K が二通りもチェックされる場
所に移動する 1.Ke7! がキーです。チェックに
をすると眠っていた白 R の利きが発生してそ
れを利用して詰みます。

星野：P に気をとられて、B、R、Q、K の応手
を見落としそう。

☆ 上のかっこ内の順は 2.Sf6+ のスレットを防
いでいない（その後の手順は異なりますが）の
で、主要変化とはみなされない（つまり書いて
無くても減点されない）ようです。

[○ 1 △ 0 × 0 - 9]

D486 Leonid Makaronez
C+ (Israel)



#3 (8+8)

1.f3! (2.fxe4#)
1...e3 2.Qa5 (3.Qxe5#)
1...exf3 2.e4+ dxe3 e.p. 3.Qd7#
1...Sf2 2.Rf4+ exf4 3.Qa5#

☆ まずお詫びを。投稿に「After Bruno Cola-
neri D478」とあったのを記載し忘れてしま
いました。I forgot to mention the author's
note " After Bruno Colaneri D478 ", sorry.
星野：e.p で Qd7 が実現すると、スッキリする。
☆ 配置がすっきりした上に、変化も1つ増え
て(1...e3) よくなっていると思います。ただ

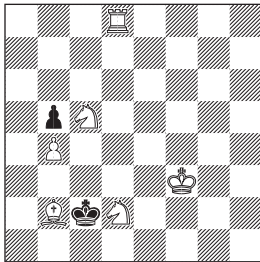
D478 と同様に、アンパッサンで取らせるのが、QのアンピンとQの縦のラインを通すという意味付けがダブっているのが少し味の悪いところです。

[○1△0×0-9]

D487 Aleksandr Pankratyev

☆誤図につき再出題いたします。お詫びいたします。

D488 Aleksandr Pankratyev
C+ (Russia)

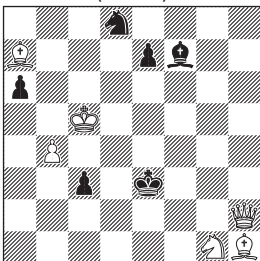


#3 (6+2)

- 1.Rc8! waiting
1...Kd1 2.Sc3/Sce4 (3.Rc1#)
1...Kxd2 2.Sb3+ 2...Kd3/Kd1(Ke1) 3.Rc3/Rc1#
1...Kxb2 2.Sd3+ 2...Ka2/Ka3/Ka1 3.Ra8#

星野：Rb8から始めたい気がするが。
☆1...Kd1の変化で dualがあったり、なんかすっきりしません。
[○2△0×0-8]

D489 Petrasin Petrasinovic
C+ (Serbia)



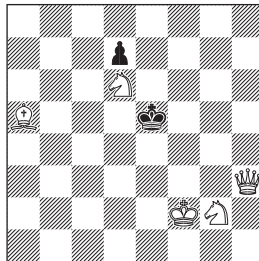
#3 (6+6)

- 1.Bd5! (2.Kc4#)
1...Bxd5 2.Kxd5+ Kd3 3.Qe2#
1...Sc6 2.Kxc6+ Kd3 3.Qe2#
1...Se6+ 2.Kc4+ Sc5/Sd4 3.Bxc5/Bxd4#
1...Sb7+ 2.Kc4+ Sc5 3.Bxc5#

星野：Kの移動先を無理やり作る。
☆スレットも変化もKによる開き王手でどれも同じような手順なのがあまり面白くないです。

[○1△1×0-8]

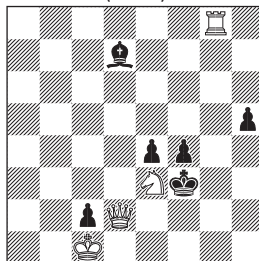
D490 Petrasin Petrasinovic
C+ (Serbia)



#3 (5+2)

- 1.Sf4! (2.Qc3+ Kxf4/Kxd6 3.Qg3/Bb4#)
1...Kxd6 2.Qe3 waiting Kc6 3.Qb6#
1...Kf6 2.Qh6+ Ke7/Ke5 3.Sd5/Bc3#
星野：「左右対称中央に手有」で、やっぱり詰むもんですね。
☆まったく無駄のない配置ときれいな手順で、良くできていると思います。
[○2△0×0-8]

D491 Leonid Makaronez
C+ (Israel)



#4 (4+6)

1.Rg2? fxe3!

1.Qg2+! Ke3 2.Qd2+Kf3 3.Rg2 e3 4.Qd5#

星野：Sが邪魔なので Sf5 と捨てる と B が利いてくる。黙って捨てるのが上手い。

☆見ての通りの邪魔駒消去。さすがに底が浅すぎるので、もう少し手を加えたいところです。

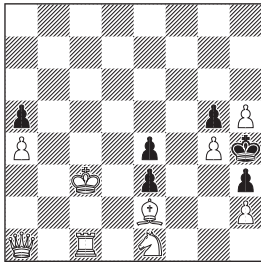
[○ 1 △ 0 × 0 - 9]

D492

Miloje Ilić

C+

(Serbia)



#4

(9+6)

b)Kc3→a1

a.)

1.Sd3! waiting exd3 2.Re1! waiting
 2...d2 3.Qd1! waiting dxe1=Q + 4.Qxe1#
 2...dxe2 3.Rg1! e1=Q 4.Qxe1#

b.)

1.Bf3! waiting e2 2.Rc4! e3 3.Be4! waiting
 Kxg4 4.Bg6 #
 (1...exf3 2.Rc4! 3.Sf3#)

Author: In the first twin knight sacrifices itself on d3 and in the second one bishop on f3, both with quite different and interesting play.

星野：Bを捨てたのに取ってくれず、再びBでSTMを避ける感じが良い。

☆ダイレクトでは珍しいツイン。ステイルメントにならないようにしながら黒の手を利用して詰まします。ちょっと面白いですが、a)のキーは純粋に waiting ではなく 2.Rc2 や Rh1 などのスレットがあったり、b)のキーも単純に waiting ではなく、2.Rc4 waiting があって本手順とかぶっていたりするのがすっきりしない

ところです。

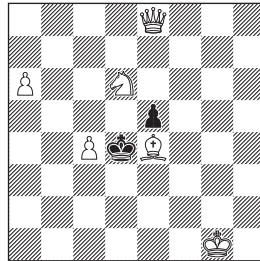
[○ 1 △ 0 × 0 - 9]

D493

Petrasin Petrasinovic

C+

(Serbia)



#4

(6+2)

1.Qa4! (2.Qb3 waiting Kc5 3.Sb7+ Kd4 4.Qd3#)

1...Kc3 2.Sb5+ Kd2 3.Kf2 (4.Qc2#)

1...Kc5 2.Sf5 (3.Qb5#) Kb6 3.Qc6+ Ka7/ Ka5 4.Qb7/Qb5#

1...Ke3 2.Qc2 (3.Qf2#) 2...Kf4 3.Qg2 waiting Ke3 4.Qf2#

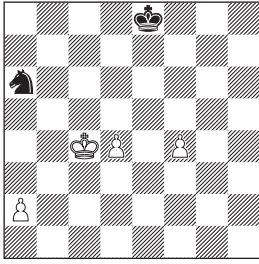
2...Kd4 3.c5 (4.Sf5#) Ke3 4.Qf2#

☆星野さんの解答は 1...Kc3 の変化で 2.c5? としていましたが、2...Kd2 3.Qc2+ Ke1 でのがれます。ここで少し減点。

☆わりとうまくできていると思います。

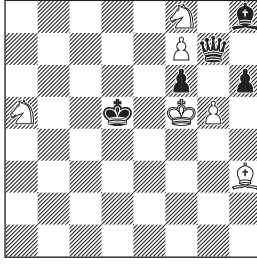
[○ 0 △ 1 × 0 - 9]

E107 Marcel Dore
(France)



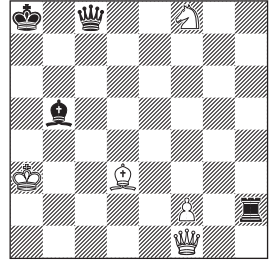
Win (4+2)

E108 Jarl Henning Ulrichsen
(Norway)



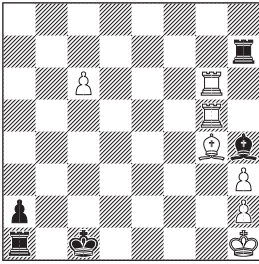
Win (6+5)

E109 Pavel Arestov
Daniel Keith
(Russia, France)



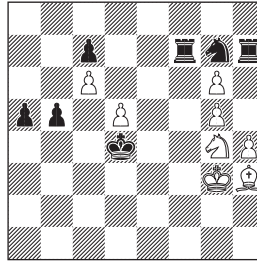
Draw (5+4)

E110 Jan Timman
(Netherlands)



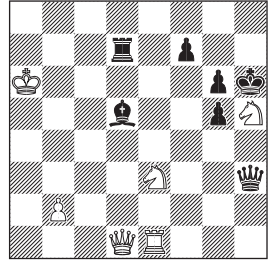
Draw (7+5)

E111 Andrzej Jasik
(Poland)



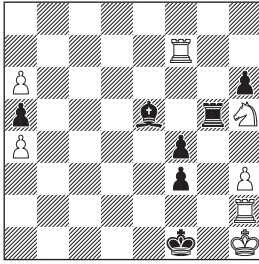
Win (8+7)

E112 Peter Krug
(Austria)



Win (6+7)

E113 Peter Krug
(Austria)



Win (7+7)

Endgame

Endgame Editor

Hiroshi Manabe (真鍋 浩)

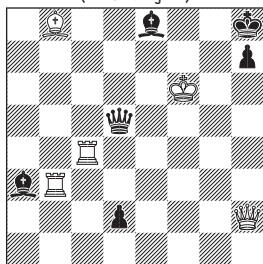
Judge 2019

Mario G. Garcia (Argentina)

E107は駒数も少なく解きやすいと思います。E108は自然な手の連続で局面を絞って行ってください。E109は2手目が発見できれば、正解が見えてきます。E110は黒ポーンのプロモーションを巡る戦いですが、最後は意外な形でドローになります。E111は初手がポイント、しっかり読み切ってください。E112は自然な手を続けると正解が見えてくると思います。E113は手順を尽くして右下隅に閉じ込められている白キングを救ってください。

Issue 84 (E095-101)

E095 Ilham Aliev (Azerbaijan)



Win (5+6)

1.Qe5! Qxe5+ 2.Bxe5 d1=Q 3.Rb8! Qd7
4.Rxe8+! Qxe8 5.Rc8! Qxc8 6.Kf7# Win

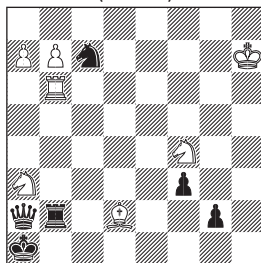
☆ 初手 1.Be5? は 1...Qf7+ 2.Kg5+ Kg8
3.Rg3 d1=Q 4.Kh6+ Qg6+ で続きません。
正解の1.Qe5! に対して 1...Qf7+ なら、今
度は 2.Kg5+ Kg8 3.Rg3 d1=Q 4.Kh4+!(4.
Kh6+? Kf8 5.Qh8+ Ke7 6.Re3+ Kd8
7.Rd4+ Bd6=) Kf8 5.Qh8+ Ke7 6.Re3+
Kd8 7.Rd4+ Bd6 8.Rxd6+ Qxd6 9.Bxd6
Qf2+ 10.Rg3 で白勝ちです。

☆ 黒は 1...Qxe5 2.Bxe5 と精算してから
2...d1=Q としますが、3.Rb8!、4.Rxe8+!、
5.Rc8! の3連発で黒Qを翻弄し、最後は
6.Kf7# で綺麗にメイトです。

☆ なお、3.Rb8! の代わりに 3.Rc8? とするのは、
同様に 3...Qd7 4.Rxe8+ Qxe8 5.Rb8 Qxb8
6.Kf7+ と進んだ時に 6...Qxe5 と取られてス
タイルメイトです。

[○1△0×0]

E096 Andrzej Jasik (Poland)



Draw (7+6)

1.Sc2+ Rxc2 2.Be3! g1=Q! 3.Bxg1 f2
4.Bxf2 Rxf2 5.Kh6!! Rxf4 6.a8=Q! Sxa8
7.Rb1+! Kxb1 8.b8=Q+ Qb2 9.Qxf4 Draw

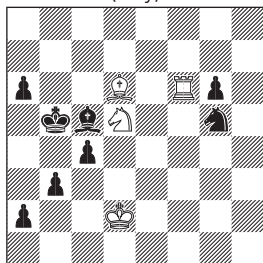
☆ 黒からは 1...g1=Q/Qf7+/Rxb6 が 見
え ています が、1.Be3? は 1...Qf7+ 2.Kh6
Rxb6+、1.Bc3? に も Qf7+ 2.Kh8 Qe8+
3.Kh7 Qe4+ 4.Kh8 g1=Q 5.Sc2+ Kb1
6.Rxb2+ Kc1 7.Rb1+ Kxc2 8.Rxg1 Qxb7、
1.Rxb2? に は 1...Qf7+ 2.Kh6 Qf8+ 3.Kh7
Qf5+ 4.Kh6 g1=Q 5.Rb1+ Qfxb1 6.Sc2+
Qxc2 7.a8=Q+ Sxa8 8.bxa8=Q+ Kb2
9.Qb7+ Ka3 10.Qb4+ Ka2 11.Qa5+ Kb2
12.Qb4+ Qb3 13.Sd3+ Ka2 14.Sc1+ Qxc1
15.Qxb3+ Kxb3 16.Bxc1 f2 で い ず れ も 黒 勝
ち です。

☆ 正解は 1.Sc2+ Rxc2 と して から の 2.Be3!
今 度 は、2...Qf7+ に 対 し て、3.Kh6 Qf8+
4.Kh7 g1=Q 5.Bxg1 f2 6.Bxf2 Rxf2
7.Rb1+! (7.a8=Q+? Sxa8 8.b8=Q Qe7+
9.Kg8 Sxb6) Ka2 8.a8=Q+ Sxa8 9.b8=Q
で ドロウ です。

☆ 従 っ て 黒 は 2...g1=Q 3.Bxg1 f2 4.Bxf2

Rxf2 と進めますが、5.Kh6 がうまい手。
 5...Rxf4 (5...Rh2+ 6.Kg5 Qa5+ 7.Kg4
 Qxb6 8. a8=Q+ Kb1 9.b8=Q Sxa8
 10.Qxa8) 6.a8=Q Sxa8 となった局面
 で、更に 7.Rb1+ が絶妙手。7...Qxb1 には
 8.bxa8=Q+ Qa2 9.Qh1+ Qb1 10.Qa8+ で
 ドロー、作意の 7...Kxb1 にも 8.b8=Q+ から
 ルークを抜いて、Q + S vs Q のドローです。
 [○ 0 △ 0 × 1]

E097 Franco Bertoli
 (Italy)



Draw (4+8)

1.Sc3+ Ka5 2.Bc7+! Kb4 3.Sd5+ Ka4
 4.Sc3+ Ka3 5.Rxa6+ Kb2! 6.Sd1+! Kb1
 7.Kc3! a1=Q+ 8.Rxa1+ Kxa1 9.Kxc4 Ka2
 10.Sc3+ Kb2 11.Sb5! Se4 12.Kd3! Sf2+
 13.Kc4! Be3 14.Be5+ Kc2 15.Sa3+ Kc1!
 16.Kxb3 Draw

☆ 1.Sc3+ から 2.Bc7+ は自然な導入部です。
 3.Sd5+ Ka4 4.Sc3+ と同形の繰り返しを狙う
 と、黒は 4...Ka3 5.Rxa6+ Kb2 と逃げ出す
 しかありません。

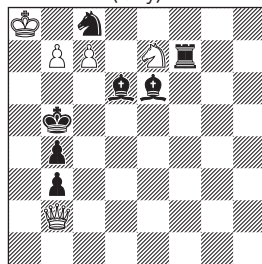
☆ 6.Sd1+ Kb1 の局面で、7.Kc3! が力強い手。
 以下 a1=Q+ 8.Rxa1+ Kxa1 9.Kxc4 Ka2 (9...
 Se6 10.Be5+ Ka2 11.Kd5) 10.Sc3+ Kb2 と
 進んだときに 11.Sb5! がうまい手。11.Be5?
 Sf3 12.Bf6 Bd6 13.Sd1+ Kc1 14.Se3 b2
 15.Bxb2+ Kxb2、11.Sa4+ Kc2 12.Kxc5
 Se6+ はいずれも黒勝ちです。

☆ 11...Se4 12.Kd3! Sf2+ 13.Kc4! Be3
 14.Be5+ Kc2 13.Sa3+ Kc1 16.Kxb3 となっ
 てドローが確定します。

☆ ジャッジの Garcia 氏から、6.Sa4+ で
Cook(余詒) との指摘がありました。**6.Sa4+!**

**Kb1 7.Sc3+ Ka1 8.Kd1 Sf3 9.Sxa2 bxa2
 10.Kc2** でドローになります。
 [○ 0 △ 1 × 0]

E098 Marco Campioli
 (Italy)



Black to Move, Draw (5+7)

1... Sb6+! 2.Ka7! Bxc7! 3.Qe2+ Bc4
 4.Qh5+ Ka4 5.Qc5! Bb8+! 6.Kxb6! b2!
 7.Qxc4 Rf6+! 8.Sc6 b1=Q 9.Qb5+ Ka3
 10.Qa5+ Kb2 11.Qxb4+ Ka1 12.Qxb1+
 Kxb1 13.Kb5 Bc7 14.b8=Q Bxb8 15.Sxb8
 Draw

☆ 左上隅で駒が沢山当たっており、手に迷う
 ところですが、1...Sb6+ 2.Ka7 Bxc7 が黒の
 最善です。白は 3.Qe2+ ~ 4.Qh5+ ~ 5.Qc5!
 とクイーンで黒陣の弱点を突きます。

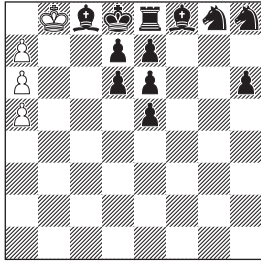
☆ 5...Bb8+! が 6.Kxb6? Sd7+ を見たうまい
 手ですが、冷静に 6.Kxb6 b2 7.Qxc4 と進め
 ます。直ぐに 7... b1=Q とするのは、8.Qxf7
 Qg1+ 9.Kc6 Qc1+ 10.Kd7 Qc7+ 11.Ke8
 Qxb7 12. Qa2+ でドローなので、7...Rf6+
 8.Sc6 を交換してから 8...b1=Q とプロモー
 ションしますが、9.Qb5+ Ka3 10.Qa5+ Kb2
 11.Qxb4+ と手順に精算して、以下はわかり
 やすいドローです。

[○ 0 △ 1 × 0]

E099

Daniele Gatti

(Italy)



Draw

(4+12)

1.a8=R Bg7 2.a7 Rf8 3.a6 Ke8 4.Kc7 Kf7
5.Rxc8 Rxc8+ 6.Kxc8 e4 7.a8=Q Draw

☆異様な初形ですが、1.a8=Q? Sf6 は白から早いメイトも無く、黒勝ちとわかれば目指すはスタイルメイト、1.a8=R が正解です。

☆次の a7 ~ a6 までに、黒はキングが動けるスペースを作らないといけないので、1...Bg7 2.a7 Rf8 3.a6 Ke8 は必然。4.Kc7 Kf7 5.Rxc8 Rxc8+ 6.Kxc8 e4 7.a8=Q と進んでドローです。

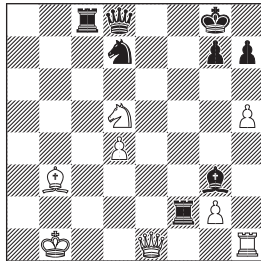
☆大掛かりな舞台の割に、小じんまりとした手順の作品でした。

[○ 1 △ 0 × 0]

E100

Peter Krug

(Austria)



Win

(8+8)

1.Sf4+ Kh8 2.Sg6+ hxg6 3.Qe8+ Rf8
4.hxg6+ Qh4 5.Rxh4+ Bxh4 6.Qxd7 Bg5
7.Qh3+ Bh6 8.g4 Rc1+ 9.Kb2 Rcf1 10.g5
R1f3 11.Qg4 R3f4 12.Qg1 Rf1 13.Qe3
R1f3 14.Qe7 Win

☆実戦のような初形ですが、1.Sf4+ が見れば、1...Kh8 2.Sg6+ hxg6 までは必然です。

☆ここで 3.Qe8+! が妙手。h4 の効きを消すわけにはいかないので、黒は 3...Rf8 4.hxg6+ Qh4 5.Rxh4+ Bxh4 6.Qxd7 と応じます。

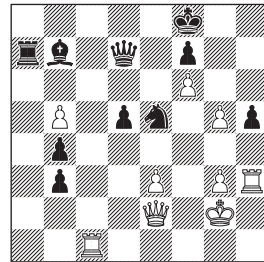
☆局面が落ち着いたところで、6...Rf1+ 7.Kb2 Rf2+ 8.Ka3 Ra8+ 9.Kb4 Rb8+ 10.Kc5 Rxc2 と攻めに転ずるのは、以下 11.Qh3 Rg5+ 12.d5 Rh5 13.Qg4 Be7+ 14.Kc6 で白勝ちなので、黒は 6...Bg5 7.Qh3+ Bh6 と固めます。8.g4 の追撃に対して、8...Rc1+ (8...Rf1+ 9.Kb2) 9.Kb2 Rcf1 と黒は R を連結してバーベチュアル狙いで粘りますが、以下 10.g5 R1f3 11.Qg4 R3f4 12.Qg1 Rf1 13.Qe3 R1f3 14.Qe7 と進んで黒は手が続きません。

[○ 0 △ 0 × 1]

E101

Peter Krug

(Austria)



Win

(9+10)

1.Qxh5 d4+ 2.e4 Bxe4+ 3.Kg1 Sf3+
4.Qxf3 Qxh3 5.g4! Ra1 6.Qxh3 Rxc1+
7.Kf2 Rc2+ 8.Ke1 Rc1+ 9.Kd2 Rc2+
10.Kd1 Ke8 11.Qxb3 d3 12.Ke1 Re2+
13.Kf1 Bg2+ 14.Kg1 d2 15.g6 fxg6 16.f7+
Ke7 17.Qxb4+ Kxf7 18.Qc4+ Re6 19.Qf4+
Win

☆初手 1.Qxh5 はこの一手ですが、1...d4+ に 2.e4 と捨てるのが好手。2...Bxe4+ と近づけてから、3.Kg1 Sf3+ 4.Qxf3 と精算します。5.Rh8# が見えているので、黒は 4...Qxh3 とこちらを取りますが、この局面で 5.g4 が妙手。クイーンのただ捨てるようですが、先程黒Bを近づけたのが効いて、6.Rc8# が可能になって

いるので、黒はクイーンを取ることができません。

☆万策尽きたようですが、5...Ra1 が次なる秘策。6.Rxa1? と取ると、今度は a8 に効きがあるので、6...Qxf3 と取られてしまいます。白は冷静に 6.Qxh3 とこちらを取り、6...Rxc1+ 7.Kf2 Rc2+ からチェックが続きますが、9...Rc2+ 10.Kd1 の局面で 10...Ke8 とバックランクメイトを避けざるを得ません。

☆ 11.Qxb3 とポーンを外して決まりのようですが、11...d3 が唯一の抵抗。12.Ke1 (12.Qxb4? Bf3+ 13.Ke1 Re2+ 14.Kf1 d2) Re2+ 13.Kf1 Bg2+ 14.Kg1 d2 まで進んで、15.g6! が決め手。15...fxg6 16.f7+ Kf8 17.Qxb4+ Kxf7 18.Qc4+ Re6 19.Qf4+ と連続チェックで Pd2 を取り切って、ついに白勝ちが決まります。

[○ 0 △ 0 × 1]

☆今回は塩見さんが唯一の解答者でした。いつもありがとうございます。

Cook(不完全作)の報告

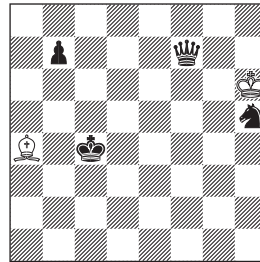
Peter Krug 氏作の E093(Issue83 出題、Issue85 解説)について、ジャッジの Garcia 氏から不完全との指摘がありました。最終手 12.Qb2 の後、12...Se3+ 13.Kg1 Sc4 14.Qc3 Bb7 15.Qxc4 Re6! とし、以下、例えば 16.c8=Q Bxc8 17.Qxc8 と進んだ局面は、黒 R が e6 と g6 を往復していれば、白からは有効な攻め手がなく、ドローの局面です。粗検をお詫びします。

The Judge, Mr. Garcia pointed out E093 by Peter Krug is cooked, as after the final position of 12.Qb2, 12...Se3+ 13.Kg1 Sc4 14.Qc3 Bb7 15.Qxc4 Re6! reaches positional draw. Apologies for my poor examination.

H コース

(Continued from p.20)

H1062Fadil Abdurahmanovic
C+ (Bosnia Hercegovina)



H#7.5

(2+4)

1...Be8 2.Qf2 Kg6 3.Sf6 Kf7 4.Sd7+ Ke6
5.Kb5 Kd5 6.Ka6 Kc4 7.Qa7 Kb4 8.Sb6
Bb5#

星野：Kのゴールが遠くて大変だった。

則内：I feel splendor from the knight.

内田：論理的で気持ちよく解ける。

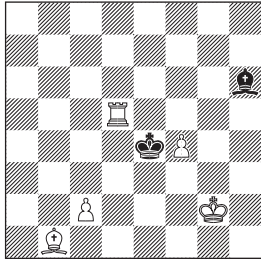
小林：詰め上がりより3手逆算はすぐできるがその先は難しい。解いて楽しい。佳作!!

○複数の Helpmate Indian を6枚の miniature で実現した意欲作です。作者によればこれは初めてではないか、ということです。

MY: A masterpiece by prominent composer which realized mixed w/b Indian + black Indian in only 6 pieces miniature! That is probably new!?

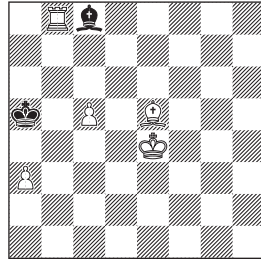
○みなさん次号もぜひ解答、短評よろしくお願います。投稿も email 等で頂けるとありがたいです。

H1082 Toshimasa Fujiwara
C+ (藤原俊雅)



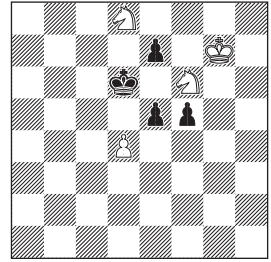
H#2 2sols (5+2)

H1083 Slobodan Saletic
C+ (Serbia)



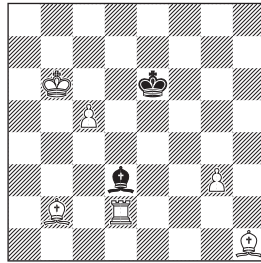
H#2* (5+2)

H1084 Vito Rallo
C+ (Italy)



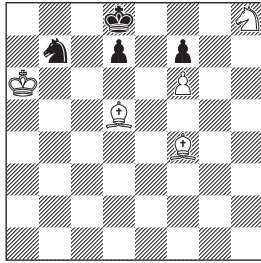
H#2 2sols (4+4)

H1085 Stefan Milewski
C+ (Poland)



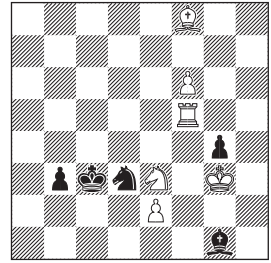
H#2 2sols (6+2)

H1086 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



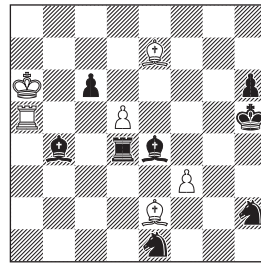
H#2* 3sols (5+4)

H1087 Christer Jonsson
C+ (Sweden)



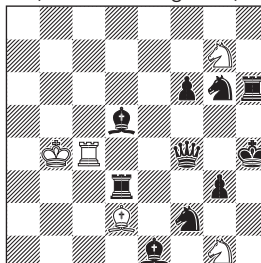
H#2** 2sols (6+5)

H1088 Pierre Tritten
C+ (France)



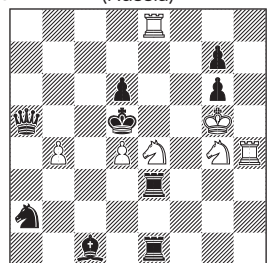
H#2 (6+8)
b) bPh6→g6

H1089 Fadil Abdurahmanovic
C+ (Bosnia Hercegovina)



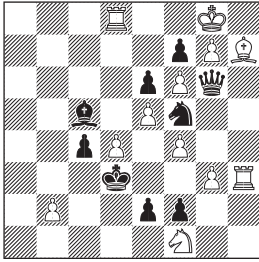
H#2 2sols (5+10)

H1090 Aleksandr Pankratjev
C+ (Russia)



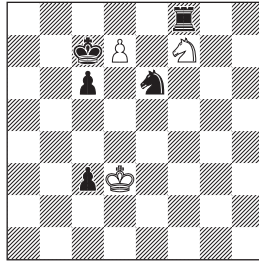
H#2 2sols (7+9)

H1091 Christer Jonsson
C+ (Sweden)



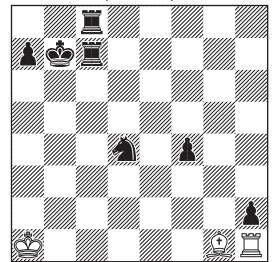
H#2 (12+9)
b) wSf1→a1

H1092 Vito Rallo
C+ (Italy)



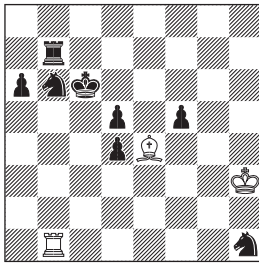
H#2.5 2sols (3+5)

H1093 Aleksandr Pankratjev
Aleksey Ivunin
C+ (Russia)



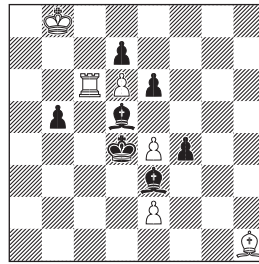
H#3 3sols (3+7)

H1094 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



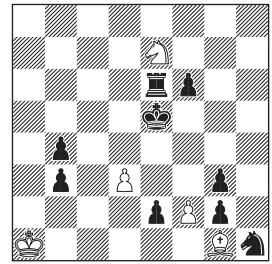
H#3 2sols (3+8)

H1095 Christopher J.A. Jones
C+ (Great Britain)



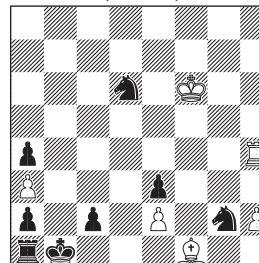
H#3 2sols (6+7)

H1096 Jozef Lozek
C+ (Slovakia)



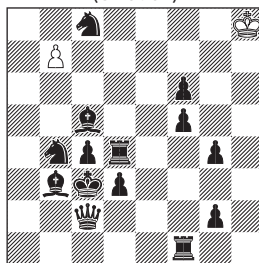
H#3 2sols (5+9)

H1097 Stefan Milewski
C+ (Poland)



H#3 2sols (6+8)

H1098 Christer Jonsson
C+ (Sweden)



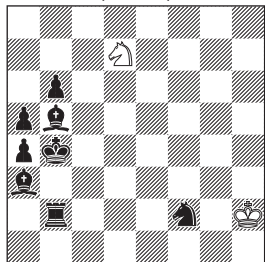
H#3 2sols (2+14)

H1099 Aleksandr Pankratjev
Evgeny Gavryliv
C+ (Russia, Ukraine)



H#3.5 2sols (4+8)

H1100 Aleksandr Pankratjev
Aleksey Ivunin
C+ (Russia)



H#4.5 2sols

(2+8)

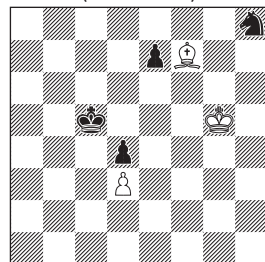
H1101C+ Fadil Abdurahmanovic
Marko Klasinc
(Bosnia Hercegovina, Slovenia)



H#5.5

(2+10)

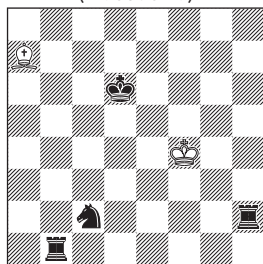
H1102 Zlatko Mihajloski
C+ (Macedonia)



H#6

(3+4)

H1103 Zlatko Mihajloski
C+ (Macedonia)



H#7 2sols

(2+4)

Helpmate

Helpmate Editor

Masato Yoshii [吉井雅人]

Judge 2019

Ivan Denkovski (Macedonia)

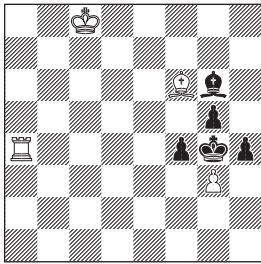
今号は 22 問の出題です。藤原俊雅さんから初投稿作を頂きました。作家としてプロパラデビューです。皆さん温かいコメントをお願いします。H1083 は Set Play です。H1087 は H#2 を 2 つ、H#1.5 が 2 つの合計 4 解です。たくさんの解答、短評をお待

ちしています。

This issue has 22 compositions. We have a new contributor Toshimasa Fujiwara from Japan. Warm welcome to Toshimasa!

Issue 84 (H1041-1062)

H1041 Miloje Ilic
C+ (Serbia)



H#2 3sols (4+5)

- 1.h3 Ra5 2.f3 Rxd5#
1.Kf5 Kd7 2.g4 Rxf4#
1.Kh5 Bg7 2.f3 g4#

星野：Pは全部突けたけど、さすがにBは無理。

井上：3解目はPh4を取るのかと思った。

九尾：ポーン3枚を取り分けるのかと思いましたが……。

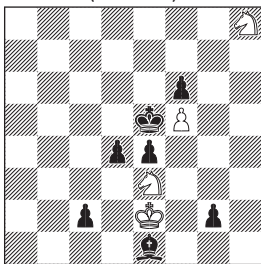
則内：I feel innocence from pawns.

小林：解きははじめの作として最適

○食指を誘う初形からシンプルな3解。

MY：Good pawn hidaway from economical setting.

H1042 Lubos Kekely
C+ (Slovakia)



H#2 2sols (4+7)

- 1.Bb4 Kf2 2.Bd6 Sg6#
1.Bg3 Kd2 2.Bf4 Sf7#

井上：予想通りの詰上り。白の手待ちが限定されている。

九尾：キングを左右に動かす手が冗長に感じました。

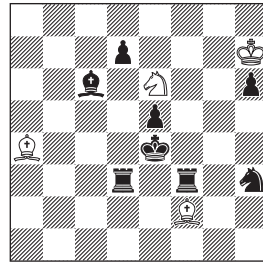
則内：Quite simple combination.

小林：bBの動きの逆にwKが揺れる。

○KのTempo。Bと逆の動きに動くシンプルな作品。

MY：wK Tempo with opposite direction of bB.

H1043 Mohamed Jamal Elbaz
C+ (Morocco)



H#2 4sols (4+8)

- 1.Rd5 Sd4 2.Rf4 Bc2#
1.d5 Kg6 2.d4 Bxc6#
1.Bd5 Bxd7 2.Sf4 Sc5#
1.Kd5 Bb3+ 2.Kd6 Bc5#

星野：Qが欠けているのが残念。

井上：Sc5がすごい手。

九尾：2手目がd5で統一されていることに気付いて、ようやく4解目を発見。

水野：初手がd5なんですね。

塩見：黒がRを2つ動かす解はかなり時間がかかってしまった。

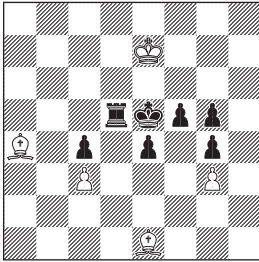
則内：Bc5# is the best in 4 mates.

小林：これだけ初手にd5と揃えられると、見事というほかはない。4解目がみえなくて、あせった。

○初手がすべてd5という趣向です。面白い作品。

MY : All first moves play on d5. Well constructed work.

H1044 Lubos Kekely
C+ (Slovakia)



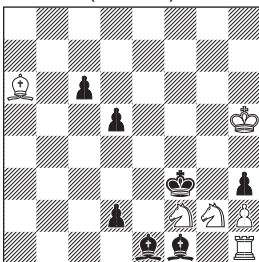
H#2 2sols (5+7)

- 1.Rd3 Bc6 2.Rxc3 Bxc3#
1.f4 Bd7 2.fxg3 Bxg3#

井上 : Be1 でメイトするのは想定できる。
九尾 : 1042 もそうですが、左右が対称っぽい形はそれがヒントになるんですね。
則内 : Funny twins as H1042.
小林 : 純情
○左右ほぼ対称の初形から B に取らせるメイト。

MY : Symmetric active sacrifices.

H1045 Christer Jonsson
C+ (Sweden)



H#2 2sols (6+7)

- 1.Kxg2 Sxh3 2.Kxh3 Bxf1#
1.Kxf2 Sxe1 2.Kxe1 Rxf1#

星野 : 駒取りが多いので、詰将棋党には指し難い。

九尾 : まさかのオール駒取り。詰キストには永久に解けない可能性あり。

塩見 : すべて駒取りですか。すごい。

則内 : Unexpected capturings.

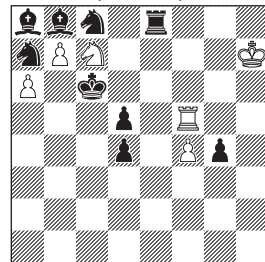
内田 : 駒取りごっこは想定外

小林 : 初手 bK 以外の駒で wS をとるものだと思います。思い込み苦戦。

○初形から解のコントラストは予想できませんが、すべて駒取り。R と B のコントラストが良いです。

MY : Surprisingly all moves take pieces! Solutions have good contrast.

H1046 Jozef Lozek
C+ (Slovakia)



H#2 (6+9)

- a) 1.Kxc7 Rxd5 2.Sc6 bxa8=S#
b) 1.Kxf5 bxc8=R 2.Re4 Rf8#

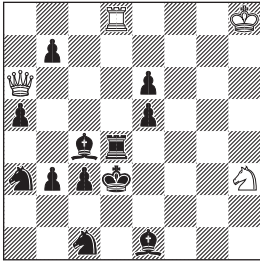
則内 : Rebirth of S in (a), R in (b).

小林 : 白のアンダープロモーションだけではつまらない。

○ S を取らせたら S にプロモーション、R を取らせたら R にプロモーションという点は面白いと思います。

MY : wP promotes to the piece that bK takes.

H1047 Stefan Milewski
C+ (Poland)



H#2 (4+12)
b) bPc3→b4

- a) 1.Rd5 Sf2+ 2.Kd4 Qb6#
b) 1.Bb5 Sf4+ 2.Kc4 Rc8#

星野：a 筋や e 筋の駒が無駄っぽい。

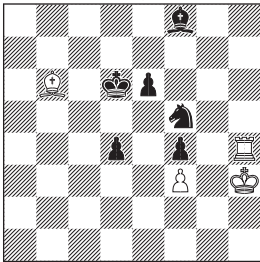
則内：Cautious moves for pin-mates.

小林：wS をどう使うかがポイント

○ピンされたピースをその方向に動かしてメイトになる Pelle move がテーマです。

MY：Pelle move. Solutions have good harmony.

H1048 Vito Rallo
C+ (Italy)



H#2.5 2sols (4+6)

- 1...Rh7 2.Kd5 Rc7 3.Sd6 Rc5#
1...Bd8 2.Se7 Bxe7+ 3.Ke5 Rh5#

星野：駒取りから一転、Rの大回り。どうツインなのか？

塩見：この作者の問題は、いつもシンプルな

割に解くのに苦労するイメージ。

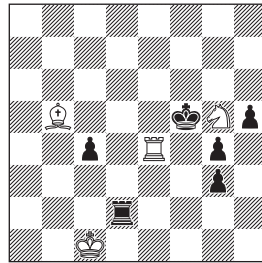
則内：A pincer attack with 2 sols.

小林：2 解目難しい。bBd6 では詰まない ...

○いつも簡素な図ではあるのですが、テーマはあまりないですね。。

MY：Mates by Rook with both solutions.

H1049 Rolf Wiehagen
Christer Jonsson
C+ (Germany, Sweden)



H#2.5 3sols (4+6)

- 1...Rxc4 2.Kxg4 Bd7+ 3.Kh4 Sf3#
1...Be8 2.Kxg5 Re5+ 3.Kh4 Rxh5#
1...Sh3 2.Kxe4 Kxd2 3.Kf3 Bc6#

星野：黙って取られる Kxe4 がむつかしかった。

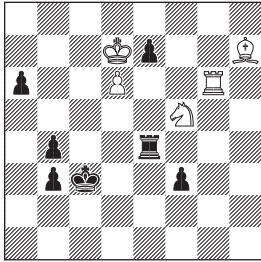
則内：R is captured twice instead of B.

小林：簡単に見つけることのできる第 1 解と他の落差が大きい ...

○サイクリックではありませんが、どれか 1 枚が取られる Zilahi.

MY：A collaboration of our regular contributors. Not cyclic but interesting and well constructed Zilahi.

H1050 Vito Rallo
C+ (Italy)



H#2.5 2sols (5+7)

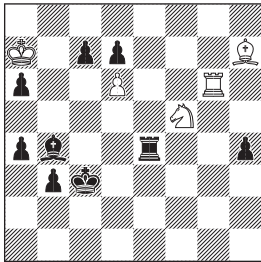
1...Se3 2.exd6 Rxd6 3.Rc4 Sd1#
1...Rg2 2.Rc4 Sd4 3.a5 Sb5#

則内: Introduction for the next derivative.

○ SBR を目一杯使ったメイト、なのですが、次作とかぶっていました……。

MY : Mate by maximizing SBR.

H1051 Vito Rallo
C+ (Italy)



H#2.5 3sols (5+9)

1...Se3 2.cxd6 Rxd6 3.Rc4 Sd1#
1...Rg2 2.Rc4 Sd4 3.a5 Sb5#
1...Rg5 2.Kc4 Bg8+ 3.Kb5 Sd4#

星野: どっちが良いかと問われれば、こちらに1票。

塩見: 解答が正しいとすれば、前問とちょっとかぶってる感じ? あと、H1051はbPh4を取ると解がもうひとつ増えますね。

則内: Double check shines out in trios.

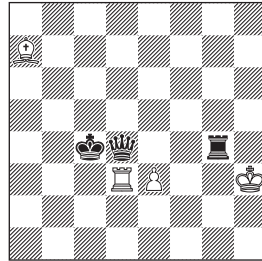
齋藤: 前問の改良案みたいです。

小林: 出題ミス?! どちらか1つで良い。

○これは皆さんご指摘どおり、こちらだけの掲載の方が良かったですね。申し訳ありませんでした。以後注意します。

MY : The work similar to previous original.

H1052 Kankuh Kobayashi
C+ (小林看空)



H#3 2sols (4+3)

1.Rg5 Bb6 2.Rb5 Ba5 3.Qd5 Rc3#
1.Kd5 e4+ 2.Kxe4 Kxg4 3.Qd5 Re3#

星野: 邪魔なPを捨てるのが見えにくい。

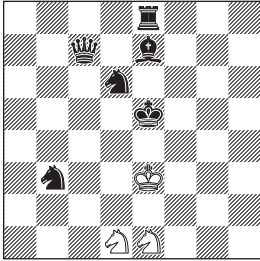
則内: 脇役のpawnがGood job!

作者: 初形でbQ取りになっている白のどの駒でもbQを取らないというのもテーマなのだが...

○小林看空さんの初投稿作。どのピースでも取れるbQを取らずに壁にします。簡素な初形で好感触。次作をお待ちしています。

MY : Active sacrifice of P and zigzag of B from very economical setting.

H1053 Christer Jonsson
C+ (Sweden)



H#3 3sols (3+6)

- 1.Qc4 Sc3 2.Sc5 Kd2 3.Kd4 Sf3#
 1.Sf5+ Ke2 2.Ke4 Sf3 3.Qf4 Sc3#
 1.Bg5+ Kf2 2.Kf4 Se3 3.Re4 Sd3#

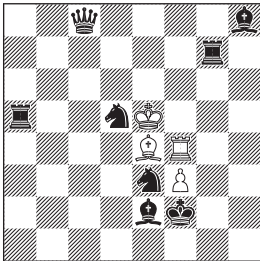
星野：2枚壁とSSで詰むパターンかと思ったら、3解目は違った。

塩見：3解もあるのに、最初全然詰む気がしなかった。

則内：Arrange for white knights to leap.
 ○2枚のSでいかにメイトにするかですが、難解作でした。

MY：Aristocratic Meredith by our regular contributor. A difficult how to mate puzzle with 2 white Ss.

H1054 Aleksandr Pankratjev
Aleksey Ivunin
C+ (Russia)



H#3 2sols (4+8)

- 1.Sf6+ Bd5 2.Rg3 Re4 3.Kxf3 Rf4#
 1.Rg3+ Rf6 2.Qg4 Bf5 3.Kxf3 Be4#

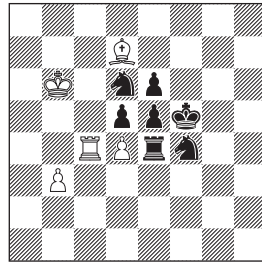
則内：Nice self-pins and switchback-double-checks.

小林：両王手見事

○Umnovは片方だけですが、セルフピンとスイッチバックのダブルチェックは面白いと思います。

MY：Selfpin and switchback with double-check. Solutions have good harmony.

H1055 Alexander Pankratjev
C+ (Russia)



H#3 2sols (5+7)

- 1.exd4 Bc6 2.Ke5 Bxd5 3.Kxd5 Rc5#
 1.Rxd4 Rc5 2.Ke4 Rxd5 3.Kxd5 Bc6#

星野：Rxd4の穴のあけ方が面白い。

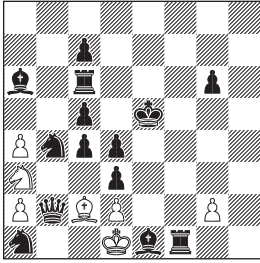
則内：Sacrifices to dig tunnels to gallows.

小林：穴掘り穴掘り...

○穴掘り系の作品。一応Zilahiにもなっています。

MY：An enjoyable work with Kniest and Zilahi.

H1056 Christopher J.A. Jones
C+ (Great Britain)



H#3.5 (7+14)
b) wSa3→h1

- a) 1...Sxc4+ 2.Kd5 Sxb2 3.Sb3 Sc4
4.Kxc4 Bxb3#
b) 1...Bxd3 2.Bf2+ Bxf1 3.Ke4 Bd3+
4.Kxd3 Sxf2#

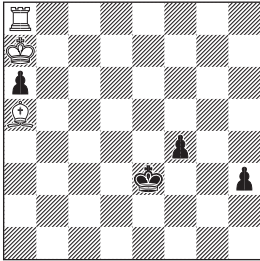
星野：ISCでジョーンズさんは駒取りが多いと解説がありましたが、その通りでした。

則内：Clean up obstacles and throw themselves.

○ごつい初形ですが、引っ張り込んでメイト。駒取りが多いのはJonesさんの作風です。Switchbackもあり解のコントラストも良いです。

MY：An pleasant work by regular contributor. Active sacrifices and Kniest and Switchback. Solutions have good harmony.

H1057 Ryo Shiomi
C+ (塩見亮)

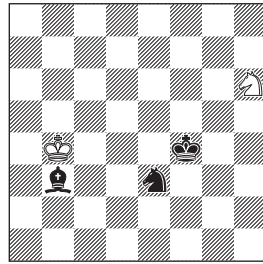


H#4 2sols (3+4)

- 1.Kd3 Kxa6 2.Kc2 Kb5 3.Kb2 Kc4 4.Ka3
Bc3#
1.h2 Rd8 2.h1=B Rd2 3.Be4 Bd8 4.f3
Bg5#

則内：a-fileへ追い込むとはsurprise。
小林：第1解だけでいいような気がするが○塩見さんの長編。黒はKのみが動く手順と、Kが全く動かない手順の2解です。簡素な初形の趣向作です。次作も期待しています。
MY：bK moves only with a solution and bk does not move at all with the other solution.

H1058 Stefan Milewski
C+ (Poland)



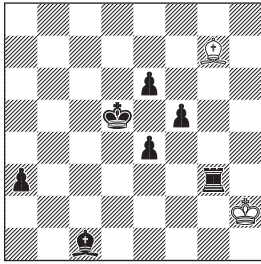
H#5 (2+3)

- 1.Bd1 Ka3 2.Sc2+ Ka2 3.Ke3 Sf5+
4.Kd2 Sd4 5.Kc1 Sb3#

星野：Kを急がせない様に、巧みにブロックしている。

九尾：素直な手順でした。
則内：The order of moves is obvious
小林：詰め上がりより逆算。
○枚数5枚以下の簡素なTanagraからIdeal mate。壁を作ってからそこに入っていく手順がユーモラスです。
MY：Tanagra with Ideal mate. An enjoyable original.

H1059 Alexander Pankratjev
C+ (Russia)



H#5 (2+7)

1.Rd3 Bf8 2.Ke5 Bxa3 3.Rd5 Bf8 4.Ba3
Kg3 5.Bd6 Bg7#

則内：A round trip of wB is amusing.

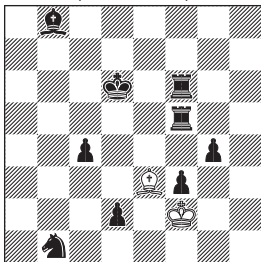
内田：Bxa3 がうまい手で解決

小林：詰め上がりから見当がつく。

○ダイナミックなBのSwitchbackがおもしろいです。Bristolの味もあって楽しい作品。

MY：A pleasant work with dynamic Switchback of B with Bristol taste.

H1060 Zlatko Mihajloski
Petre Stojoski
C+ (Macedonia)



H#5.5 (2+9)

1...Kf1 2.Ke5 Bg1 3.Kf4 Kf2 4.Kg5 Ke3
5.Bg3 Kd4 6.Kf4 Be3#

星野：KとBの入れ替え操作場のよう。

塩見：白も黒も、KがBに道を譲る。

則内：Quite tricky moves by both kings.

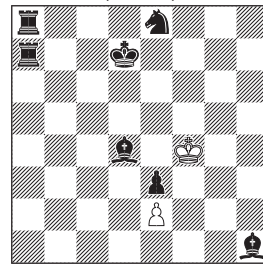
齋藤：紛れにハマってさあ大変。Kg5に思い至らず悪戦苦闘。

小林：前題の影響でPd2の消去に行ってヒドい目にあった。

○ピースを通過させてのSwitchBackはこの作者が得意とするところですが、それを白黒ともに実施しています。白はf2でBを通過させe3でKを通過させてのKBスイッチバック、黒はf4でBを通過させてのスイッチバック。素晴らしい。

MY：A spectacular collaboration by top composers. White BK Klasinc on f2 and e3, and Black BK Klasinc on f4. Very enjoyable original.

H1061 Alexander Pankratjev
C+ (Russia)



H#6 (2+7)

1.Bf6 Kxe3 2.Be7 Kd4 3.Bb7 e4 4.Rd8
e5 5.Bc8 Kd5 6.Rc7 e6#

星野：詰め上がりが限定されているので、Bを引くタイミングにだけ注意。

塩見：総動員で逃げ道封鎖。ユーモラスですね。

則内：Automatic moves heal me well.

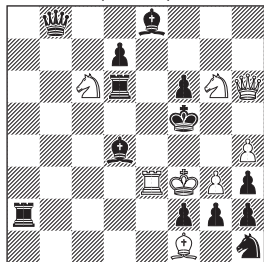
小林：初手はbBf3からexf3か、d4のBが動いてKxe3しかない。

○黒は一生命セルフブロック。白はPを伸ばします。

MY：Anihilation and good self block.

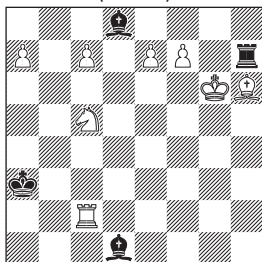
(Continued on p.10)

S240 Alexander Pankratjew
Ivan Soroka
C+ (Russia)



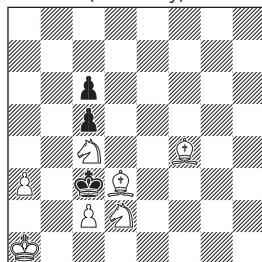
S#3 (8+13)

S241 Victor Zheltukhov
C+ (Russia)



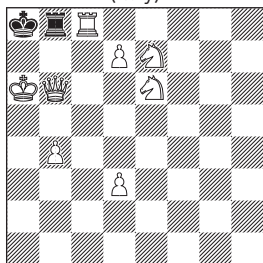
S#5 (8+4)

S242 Stephan Dietrich
C+ (Germany)



S#8 (7+3)

S243 Daniele Gatti
C+ (Italy)



S#14 (8+2)

- b) Pb4→d4
- c) Se7→d6
- d)+wBa4
- e)Ka6→h5

Selfmate

Selfmate Editor

Kohey Yamada (山田康平)

Judge 2018-2020

Diyan Kostadinov (Bulgaria)

☆今回は非常に賑やかになりました。

☆ S240 はテーマのラインが4本あります。

☆ S241 はなんとなく王手していけばよいので、最も易しいと思います。

☆ S242 は白 K が詰むために、ある駒が5回動いて壁になります。

☆ S243 はなんと5パターンのツインです。この配置が a) で、

b) 白 Pb4->d4 に移動

c) 白 Se7->d6 に移動

d) 白 Ba4 を追加

e) 白 Ka6->h5 に移動

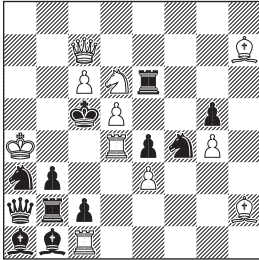
です。いずれも S#14 で、手数が長いので、いくつかヒントを出します。

a) は初手以外すべてチェックです。b) ~ e)

は a) は成りが異なります。d) のキーが一番意外です。

Issue 84 (S234-236)

S234 Aleksandr Pankratiev
C+ (Russia)



S#2 (11+12)

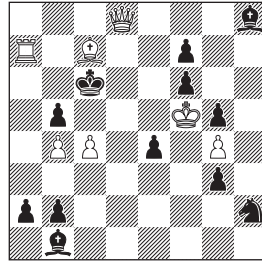
1. Bg8(-)
 1... Re6~ 2. Rc4+(A) Sxc4#
 1... Rxd6 2. Qa5+(B) Sb5 #
 1... Sf4~ 2. Qa5+(B) Sb5#
 1... Sxd5 2. Rc4+(A) Sxc4#

若 島： 2 つの correction を reciprocal change に結びつける。

☆黒 Q と S のバッテリーをどう開けさせるかについては Rc4+(A) と Qa5+(B) の 2 通りがあります。しかし、すぐにやると、いずれも黒 K のフライトが開いて逃げられます。そこで、白の 2 枚の B でそれぞれのフライトを間接的にブロックします。黒の B、R が動けばフライトが埋まって (A) または (B) が実現します。

☆しかし、動き方によっては (B) または (A) になるという、いわゆる「コレクション」をうっかりされた方が多かったです。単なる非限定だと思いこむと、1 つだけ異なることを見逃してしまうようです。

S235 Atsuo Hara
C+ (Japan)



S#3 (7+12)

1. Qc8! (2. Bxg3+ Kb6 3. Bf2+ e3#)
 1... Sf1, Sxg4 2. Bf4+ Kb6 3. Be3+ Sxe3#
 1... Sf3 2. Be5+ Kb6 3. Bd4+ Sxd4#
 1... bxc4 2. Qe8+ Kd5 3. Qxe4+ Bxe4#

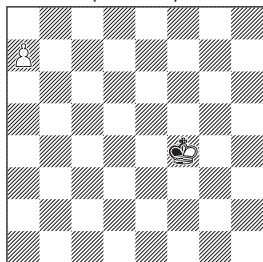
作者：WCCT10 selfmate のテーマ「最終手と同じ場所で違う駒種の手がある」です。

若 島：WCCT のテーマの line が 3 つ。1... bxc4 の副変化がいい味付け。

☆最終手だけでなく、その「同じ場所への誘導の仕方」もそれぞれ岐岐していなければ作品になりません。それだけ大局的な観点で作図する必要があるように思います。

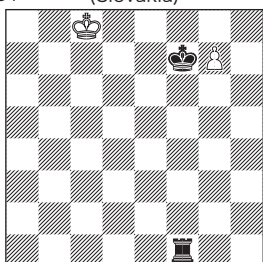
(Continued on p.46)

F984 Karol Mlynka
C+ (Slovakia)



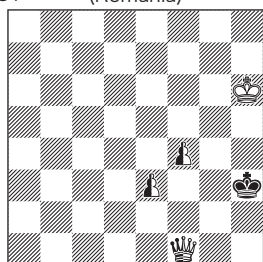
H#2 (1+0+1)
b) nKc3 c) wPe7 d)=c)+nKg3
Neutral King f4
Patrol

F985 Ľuboš Kekely
C+ (Slovakia)



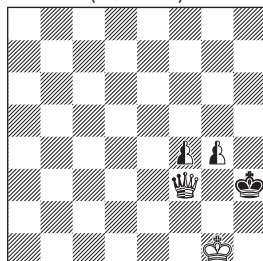
H#2 2 Sols (2+2)
Checkless Chess

F986 Éric Huber
C+ (Romania)



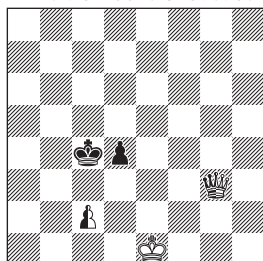
H#2 2 Sols (1+1+3)
4 Total Invisibles
Neutrals

F987 Éric Huber
C+ (Romania)



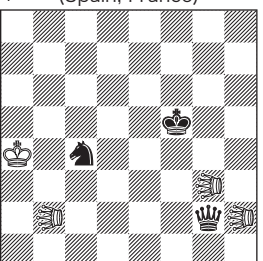
H#2 (1+1+3)
b/c) nQf3→e6/e3 d) nPf4→g3
3 Total Invisibles
4 Total Invisibles
Neutrals

F988C+ Éric Huber & Vlaicu Crisan
(Romania)
Invisible Rooks & Castles



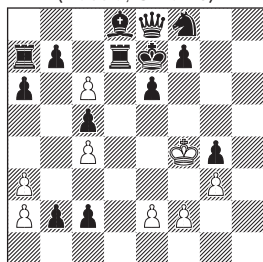
H#2 2 Sols (1+2+2)

F989 Luis Miguel Martin
Sébastien Luce
C+ (Spain, France)



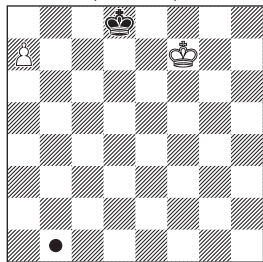
H#2 4 Sols (4+3)
Locust b2, g3, h4

F990HC+ Igor Vereshchagin
Andrey Frolkin
(Russia, Ukraine)



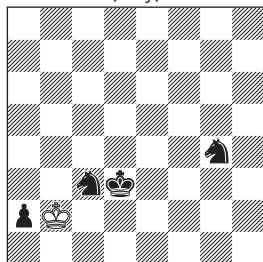
H#2 b) wPc6→h6 (8+14)
Maximum number of
Total Invisibles

F991 Karol Mlynka
C+ (Slovakia)



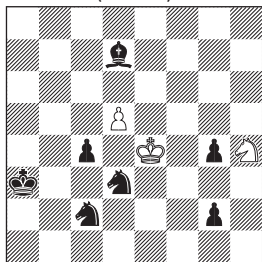
H#2.5 (2+2)
b) wKh7 c) la6 d) bKa8
Imitator b1

F992 Vito Rallo
C+ (Italy)



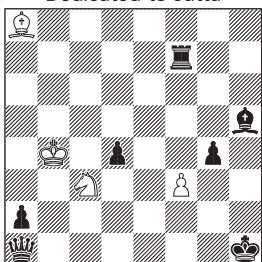
H#3 2 Sols (1+4)
Masand

F993 Pierre Tritten
C+ (France)



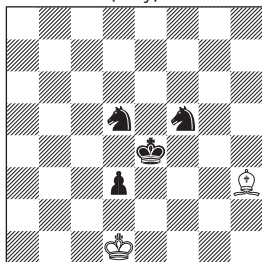
H#3 b) wBh4 (3+7)
KoBul Kings AntiCirce

Andreas Thoma
(Germany)
F994 C+ Dedicated to Jutta



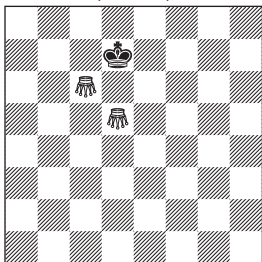
H#3 (4+7)
a) Circe b) Chameleon Circe

F995 Vito Rallo
C+ (Italy)



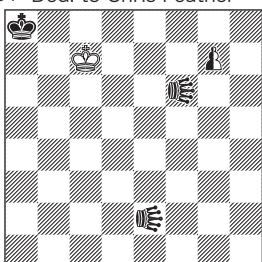
H#3.5 2 Sols (2+4)
Masand

F996 Sébastien Luce
C+ (France)



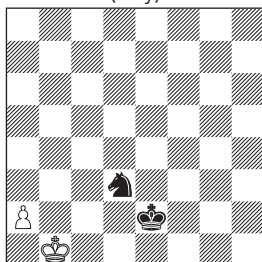
H#4 (2+1)
b-f) All the pieces are transferred
in the same direction,
with Kd7→f6/e8/h5f4/e3
Duplicable Grasshoppers c6. d5
Circe centripede

Sébastien Luce
(France)
F997 C+ Ded. to Chris Feather



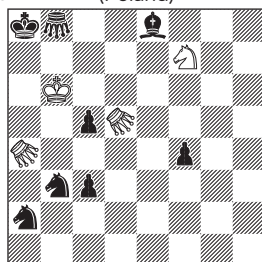
H#4.5 b) Ee2→e3 (1+3+1)
Equihoppers e2, f6
Neutral Pawn g7

F998 Vito Rallo
C+ (Italy)



H#5 2 Sols (2+2)
Masand

F999 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



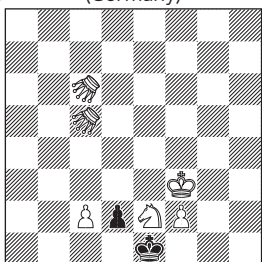
#2 (4+8)
Contra-Grasshoppers a4, d5
Grasshopper b8

Jean-Marc Loustau
(France)
F1000 C+ Ded. to Vlaicu Crisan



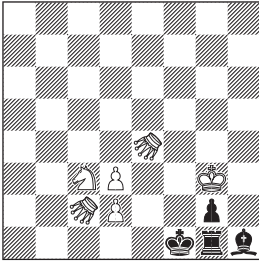
#2 (9+6)
a) In Winchloe we trust
b) We trust in Popeye
Locust a7 c2 g3

F1001 Stephan Dietrich
C+ (Germany)



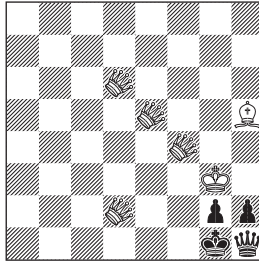
#6 (6+2)
Double-Grasshopper c5, c6

F1002 Stephan Dietrich
C+ (Germany)



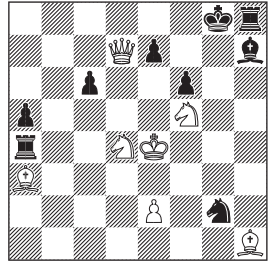
#7 (6+4)
Double-Grasshopper c2, e4

F1003 Stephan Dietrich
C+ (Germany)



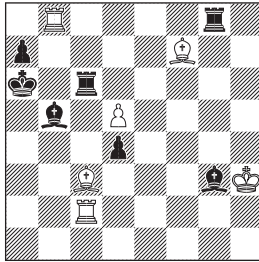
S#9 (6+4)
Moose d2, d6, e5, f4

F1004 Christopher Jones
C+ (UK)



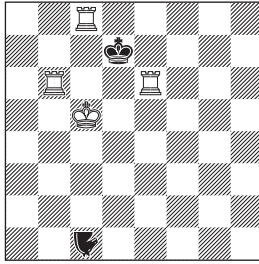
HS#3.5 (7+9)
b) bSg2→e1

F1005C+ Petko Petkov
In memoriam to V. Nestorescu
(Bulgaria)



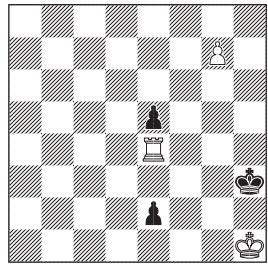
HS#4 b) -bBg3 (6+7)
Anda

F1006 Václav Kotěšovec
C+ (Czech Republic)



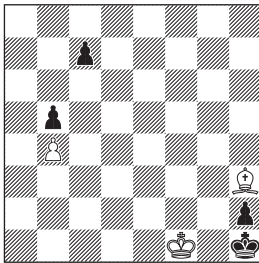
HS#8 2 Sols (4+2)
Nightrider c1

F1007 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



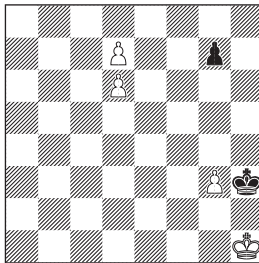
H=2 2 sols (3+3)

F1008 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



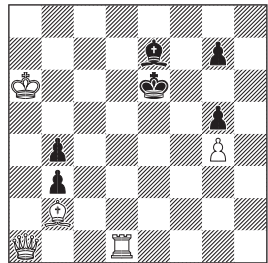
(*) H=2 (3+4)

F1009 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



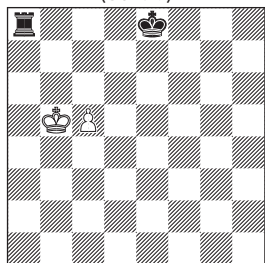
H=2 2 Sols (4+2)

F1010 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



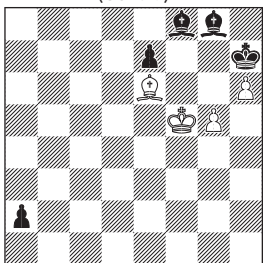
(*) H=2 (5+6)

F1011 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



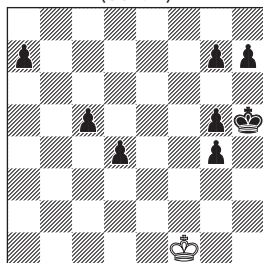
H=3 b) wKc7 (2+2)

F1012 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



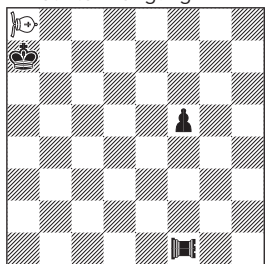
H=3 b) -bPa2 (4+5)

F1013 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



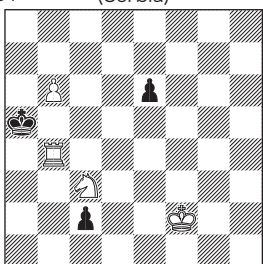
H=8 (1+8)

F1014 René J. Millour
(France)
Ded. to Wolfgang WILL



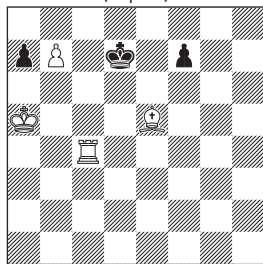
H=16 (1+3)
Pao f1, Vao a8
11+13 Invisibles

F1015 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



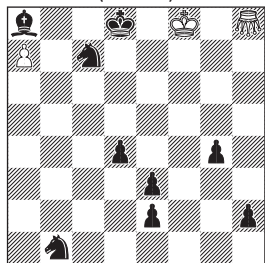
SH#4 2 Sols (4+3)

F1016 Akira Uchida
C+ (Japan)



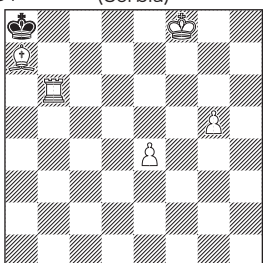
SH#11 (4+3)

F1017 Sébastien Luce
C+ (France)



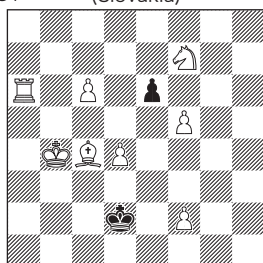
Ser=20 (3+9)
Grasshopper h8

F1018 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



(* SH=9 (5+1)

F1019 Ľuboš Kekely
C+ (Slovakia)



SH=20 (8+2)

Fairy

Fairy Editor

Vlaicu Crisan (Romania)

Judges 2019

Paul Raican (Romania)

In this issue we reach two significant milestones. First: we published the fairy original with no 1000. Second: we are able to present 36 originals, out of which 7 (!!) Wenigsteiner. Many thanks for the composers for their contributions – I hope you will keep the momentum and continue to submit your original compositions and hopefully to be able to publish soon the fairy no 2000!

This time we start with helpmates in 2 moves, which seem to be easier for the solvers. In Karol' s **F984** the promoted white piece will deliver four mates being patrolled by the mated piece. In both solutions of **F985** the black King is not able to move because will check the white King. Eric mixes for the first time the neutral pieces with Total Invisibles. Please note that none of the Total Invisibles can be neutral. In each solution of **F986**, two Total Invisibles are captured by a neutral Pawn. In each phase of **F987** the mate is delivered by a Total Invisible on a different square. In **F988**, the motto above the diagram should give you an idea what' s going to happen. Sébastien writes his inspiration for **F989** was an original miniature published by Luis – who we warmly welcome in our pages. All white Locusts have an active role in each of the four final positions. Please note **F990** is HC+ which means human-computer tested. Some retro analysis is involved in order to find out how many Total Invisibles are possible in each phase and why the

potential dual 1...hxg7 is actually not legal in the twin.

The longer helpmates might be more challenging for solving. In **F991** there are four royal mates and 3 promotions. Of course the black Pawn will promote to Queen in **F992** – once at Black first move, once at Black second move. The promoted black Queen will eventually end as a white Queen in d1 in both solutions. Pierre' s **F993** is very tricky and requires out-of-the-box thinking in order to solve it. What white King should do in order to support the mating officer? I would describe my reaction when I have seen Andreas' s **F994** as "love at first sight" : the change of fairy condition from Circe to Chameleon Circe will change also the strategy. The solutions start with a different capture of wSc3. In both solutions of **F995** the moves 2.d2 and 3.d1=Q are repeated and the white Queen will give mate. Sébastien's **F996** features Duplicable Grasshoppers – a fairy piece seen for the first time: "Piece which is duplicated on the square it initially occupies" and Circe Centripede – a fairy condition seen for the first time: "When a piece is captured (King excluded, unless otherwise stated), it must be placed on the nearest center square (d4, d5, e4, e5) if it is empty. Otherwise, the captured unit vanishes." Moreover, the twinning means shifting all three pieces with the same vector – so the trio (c6, d5, d7) is shifted to (f4, e5, f6) in b). In **F997** the neutral pawn will promote at the first move in a piece able to mate: in a) in a Rook and in b) in an Equihopper. Vito' s **F998** features again two promotions in black Queen in the corner and the transformation of bS into a wS and entirely different mates.

After so many helpmates, you will need some less taxing antagonist play. Eligiusz sent a very appropriate problem: in **F999**

there are two routes for the wS to reach c6: which is correct? **F1000** has one of the most humorous twinning mechanisms I have ever seen, based on the different rebirth square of the Locusts. After the capture Lc2xf5: Winchloe considers the rebirth square is f8, based on the arrival square of the white Locust after the capture, while Popeye considers the rebirth square is e8, based on the captured piece square. Thank you, Jean-Marc, for the dedication! The next three problems are all by Stephan: the first two feature again his extensive research on Double Grasshopper possibilities, while in **F1003** – a selfmate – the main actors are the white Mooses. Which Moose will eventually sacrifice itself on h2?

We have only three helpselfmates this issue, but all of them are of top quality. About his **F1004**, Christopher writes his composing experience was very pleasant: "everything fitted into place soundly almost straightaway". The paradox in his composition is that the bS must eventually move, but where, when and more important why? In **F1005** we have Anda: "A non neutral piece (except a King) that gives a direct check becomes neutral. A neutral piece (except a King) that gives a direct check takes the colour of the side that moved it." Please pay attention to the logical tries: a)1.d6? Bf1=nB+?? and b)1. Bb5? Rh6=nR+?? both featuring illegal self-checks. Petko dedicates the problem in the memory of the Romanian IGM in chess composition Virgil Nestorescu and writes the following lines about him:

Nestorescu visited my home in Dobrich for the first time in June, 1957! The occasion was interesting - I had sent my first problems for publication in "Revista de şah". The editor-in-chief of the magazine and Nestorescu himself wanted to get

acquainted with the 15-year-old Bulgarian author, though my first problems were rather naive!

In 1957-1959, when I was a schoolboy Virgil often visited our home in Dobrich (in those times the name of our town was Tolbuhin...). Nestorescu studied the language and culture of our region. He spoke perfectly Bulgarian. But when he was our guest Dobrich, he talked often to my parents (my mother and my second father) also in Romanian. My mother Danka Petkova was graduated from a Romanian college. She was an excellent player in violin and adored the works of the genial Romanian composer George Enescu - the legendary author of "Romanian Rhapsody No 1"! But during this period Enescu (1881-1955), who emigrated to France after the Second World War, was not dressed by the Romanian Communist authorities. In Romania it was difficult to buy books with notes (with the musical works) of this genius. In 1958, Nestorescu brought us a small book with notes bought in an antique shop in Bucharest. It was a gift to my mother and to me (then I was studying piano at school).

As a composer, Virgil preferred the endgames. He agitated me to compose endgames and I tried this, but without much success (I have only 15 endgames, two 1st prizes). But my great love was the fairy chess...

After a long pause, we met with Nestorescu in Sofia in 1985 and in 1986. He visited my family in Sofia. Then I learned from him that he did not have much time for chess composition and did not compose regularly. He was very engaged in his profession. For the fairy chess he was saying: "I really appreciate these genres, but it's too late for me to be a modernist..."

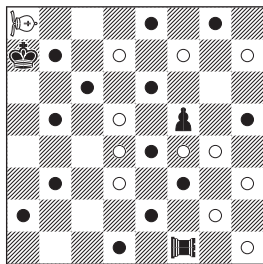
Virgil was an extraordinary person, a

very intelligent and very good man, a shining propagandist of chess composition. He has a contribution to my work in the orthodox sections. At his recommendation during this period I started composing #2 with the themes Zagoruiko, Rukhlis...

For me is so touching to write about their first meeting that happened 62 years ago! Thank you very much, Petko, for sharing your memories to our readers.

Václav's miniature **F1005** has non-standard material but exquisite play by both sides. The white King will be mated in two opposite corners by the black Nightrider, supported by the black King.

The helpstalemates will definitely offer some relief. Slobodan's compositions are generally solver-friendly, particularly for newcomers in fairy chess. This time I selected seven compositions: 4 two-movers, 2 three-movers and 1 eight-mover. The last helpstalemate is a heavy-weight Wenigsteiner created by the specialist of the competition who won the Wenigsteiner of the Year competition in the last 4 years: René J. Millour! No less than 22 Invisibles will be captured during the solution. In order to give you a hint how to solve the problem, I will give you an intermediate diagram showing the 24 Invisibles on the board:



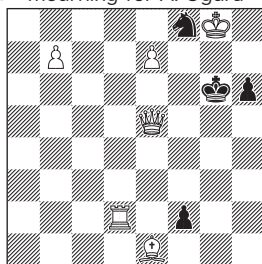
We conclude with five serial compositions, which should be enjoyed

by all of you. I would like to particularly welcome Akira Uchida for his first composition in our column – **F1016**.

Solvers, please send your comments: thanks to your fresh views we are able to publish more fairyies – as the composers really love to receive your feedback!

Issue 84 (F930-956)

F930 Ayako OKAYA (Japan)
C+ Mourning for A. Ogura

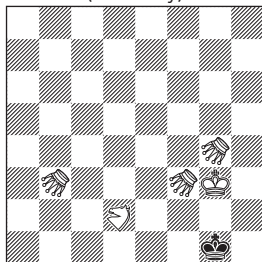


#2 (6+4)
Transmuted Kings

1.b8=Q! [2.e8=B#] 1...f1=R 2.exf8=S#

Sunouchi: Stylish tactics with AUW.
Inoue: AUW in various phases (key, threat, defense, mating move).
Crisan: A typical single line AUW, with good specific motivations.

F931 Stephan Dietrich
C+ (Germany)



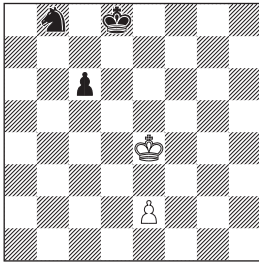
#7 (5+1)
Double Grasshopper b3 f3 g4
Saltador d2

1.DGe4! Kh1 2.DGc2 Kg1 3.DGd3 Kh1
 4.SAc4 Kg1 5.SAe3 Kh1 6.SAg2 Kg1
 7.DGf1#

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: In the final position DGd3 attacks bK via b1 and guards f1 via h3, while DGc2 controls h1 via e4. Once the final position is seen, the solution is easier to spot.

F932 Paul Răican
 C+ (Romania)



S#13 b)Sb8→h8 (2+3)
 Glasgow
 Vertical Mirror Circle
 Black Checks

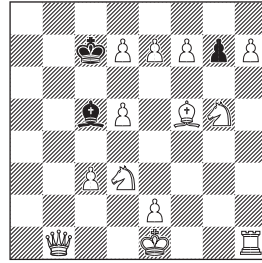
A: 1.e3! ... 2.Kd4 c5+ 3.Kd3 c4+ 4.Kd2 c3+ 5.Ke1 c2=S+ 6.Ke2 Sd4+ 7.Kd3 ... 8.Kxd4(Sg8) Sc6+ 9.Kc5 ... 10.Kd6 ... 11.Ke6 Sd4+ 12.Kf7 Sh6+ 13.Kf8 Se6#
 b) 1.Kf4! Sg6+ 2.Kg4 Se5+ 3.Kf5 ... 4.Kxe5(Sg8) ... 5.Kd4 c5+ 6.Kd3 c4+ 7.Kd2 c3+ 8.Ke3 c2=S+ 9.Kf4 ... 10.Ke5 ... 11.Ke6 Sd4+ 12.Kf7 Sh6+ 13.Kf8 Se6#

Author: Change of roles between the Knight and promoted Knight.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: The mate with 2 bSs is known from Christian Poisson' s previous compositions. Here the additional fairy conditions add some originality.

F933 Daniele Gatti
 C+ (Italy)



Semi-R#8 (13+3)

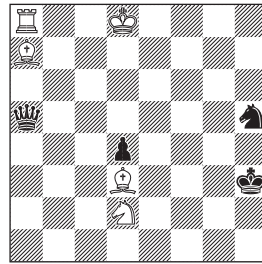
1.d8=B+! Kd6 2.e8=S+ Kxd5 3.Qb5 g6
 4.h8=R gxf5 5.Rh8h2 f4 6.e4+ fxe3 e.p.
 7.O-O e2+ 8.Kh1 exf1=Q#

Author: Valladao + AUW + Excelsior.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: A tough problem for solvers! Daniele confessed the testing was really hard, because Popeye is not a fast engine, so he had to test every single possible key move separately, including non-checking keys, to be sure that there are no cooks. This work took him months of day-and-night analysis!

F934 Pierre Tritten
 Jacques Rotenberg
 C+ (France, Israel)



H#2 2 Sols (5+4)
 Gravitation

1.Qxa7xa8 Se4 → e3 2.Qh1 → h2
 Bg6 → g5#
 1.Qxd2xd3 Bxd4xd3 2.Kg4 Ra5 → a4#

Authors: Specific mates, Zilahi, no white

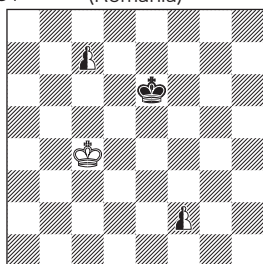
pawn, slight diagonal/orthogonal echo. We feel that we have been especially lucky with this light position. The black Knight not only blocks h5, but also avoids many cooks, the white King is used to limit the moves of the Rook and of the Queen. Because of the specific aspects of the solutions, this may be rather difficult to solve.

Sunouchi: Enjoyable solutions to learn Gravitation.

Editor: Seiichiro Sunouchi gave 1.Kh2 Bb8 → b7 2.Kh1 Sf3 → f2# as a solution, but Black can reply 3.Kg1! or 3.Kh2! because Gravity does not affect Kings.

Crizan: In the first solution, wSe3 guards either directly or by Gravitation g2, g3 and g4. In the second solution, wRa4 guards either directly or by Gravitation f3, f4, g3, g4, h3 and h4. An excellent problem for introducing this new genre!

F935 Eric Huber
C+ (Romania)



H#2.5 2 Sols (1+1+2)
Neutral Pawns c7 f2
Leffie

- 1... Kd4 2.Kf5 c8=nQ 3.nQf8 Ke5#
- 1... Kc5 2.f1=nR c8=nB+ 3.nRf5+ Kd6#

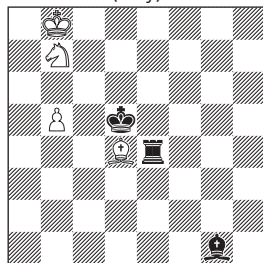
Sunouchi: Sandwich black K not to escape.

Editor: Seiichiro Sunouchi gave 1... c8=nR 2.f1=nQ Rc6+ 3.nQf6 Kd5# as a solution, but 2.f1=nQ is actually a check because Black can play nQxc4 (nQc4 as a Black piece does not paralyze nRc8 as a White

piece).

Crizan: A nice Wenigsteiner with a typical trap for Eric. The paralyzing strategy is actually the same in both solutions.

F936 Vito Rallo
C+ (Italy)



H#2.5 2 Sols (4+3)
Take&Make

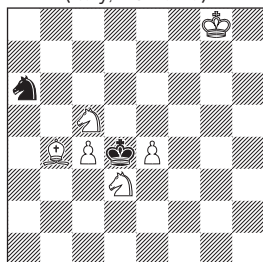
- 1... Bc5 2.Kxc5 → b6 Sd6 3.Bc5 Sxe4 → c4#
- 1... Sd6 2.Kxd4 → b6 Sxe4 → e5 3.Bc5 Sc4#

Author: Ideal mate with the same final position but obtained with different moves. Bristol bicolore, selfblock.

Editor: Nobody could solve this.

Crizan: Once you find out there is a set play it is not difficult to find the same final position by adding an extra white tempo move.

F937 Vito Rallo
C+ (Italy, Romania)



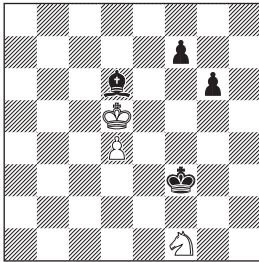
H#2.5 5 Sols (6+2)
Circe Parrain

1...Sc1 2.Kxc4 Kg7[+wPc3] 3.Sxc5
 Kh8[+wSd6]#
 1...Se1 2.Sxb4 e5[+wBb5] 3.Kxc5
 Sf3[+wSd7]#
 1...Sf2 2.Ke5 Se6 3.Kxe6 Sg4[+wSf8]#
 1...Bd2 2.Sxc5 Se5[+wSd7] 3.Sxe4
 Kg7[+wPe3]#
 1...Sa4 2.Sc5 Sxc5 3.Kxc4[+bSb5]
 Bc3[+wPd3]#

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: 5 solutions with the rebirth of the mating piece in the last white move. This is the set theme for Vito Rallo 80 JT.

F938 Vito Rallo
 C+ (Italy)



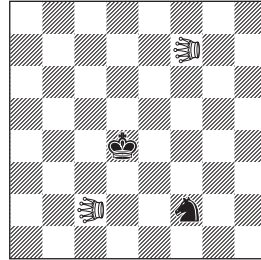
H#3.5 b) Bd6→h2 (3+4)
 Alphabetical Chess
 Annan

- a) 1...Se3 2.Be5 dxe5 3.Kf4 Kd4 4.Kg5 Ke4#
- b) 1...Sd2+ 2.Kg4 Se4 3.f6 Sf2+ 4.Kf5 Sd3#

Author: Miniature, anti-batterie, black sacrifice, model mates.

Crisan: The idea of tripling the white pieces on the same column is typical Annan. Thanks to ABC, the order of moves is uniquely forced.

Sébastien Luce
F939 Jacques Rotenberg
 C+ (France, Israel)



H#6 (set) (2+2)
 Locust c2 f7
 Antipodean Circe

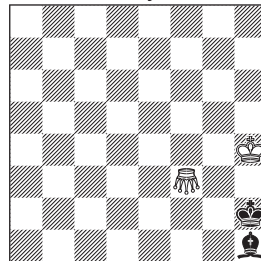
- (*) 1...LOxf2-g2(Sb6) 2.Sd7 LOxd7-c7(Sh3) 3.Sf4 LOxf4-g3(Sb8) 4.Sc6 LOxc6-b7(Sg2) 5.Kc4 LOxg2-g1(Sc6) 6.Sb4 LOxb4-b3(Sf8)#
- 1.Ke5 LOxf2-g2(Sb6) 2.Sd5 LOxd5-c4(Sh1)3.Sg3 LOxg3-g4(Sc7) 4.Sb5 LOxb5-a6(Sf1) 5.Sg3 LOxg3-g2(Sc7) 6.Se6 LOxe6-f6(Sa2)#

Authors: Specific model mates with chameleon echo

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: An improved version of F968 published in Problem Paradise 85.

F940 Vito Rallo
 C+ (Italy)



H#6.5 (2+2)
 Andernach Grasshopper f3

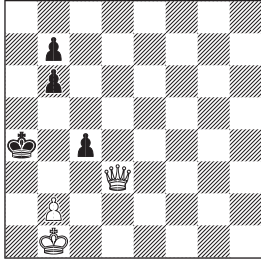
- 1...Kg4 2.Bg2 AGh5 3.Bf1 AGh1 4.Kg2 AGE1[f1=wB]+ 5.Kf2 AGg3 6.Kg1 Kh3 7.Kh1 Bg2#

Author: Delayed FML, Anderssen, white battery.

Sunouchi: AG turns carefully to keep B white.

Crisan: Only Seiichiro solved this – congratulations!

F941 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



H=2 2 Sols (3+4)
b) bBc4

A: 1.c3 bxc3 2.Ka3 Qb5=& 1.b5 b4 2.b6 Qc3=

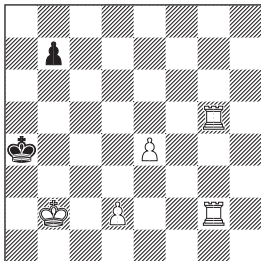
B: 1.Ba6 Qc3 2.Kb5 b3=& 1.Bb5 b3+ 2.Ka3 Qxb5=

Sunouchi: Steps by pawns, and withdrawal by B.

Inoue: Not so easy to find various final positions.

Crisan: Varied play in miniature.

F942 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



H=2 (set) (5+2)

(*) 1...Rb5 2.b6 Rgg5=
1.b5 R2g3 2.b4 Rb3=

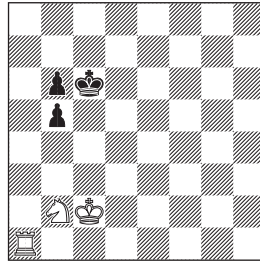
Author: Model stalemates.

Sunouchi: Rooks act roles of guard and stopper.

Inoue: Black's moves are P moves to different squares.

Crisan: This miniature and the previous one gathered most correct answers.

F943 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



H=3 (3+3)
b) wKb8

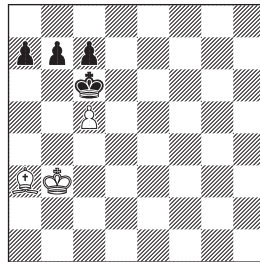
A: 1.Kc5 Ra5 2.Kb4 Rxb5+ 3.Ka3 Kb1=

B: 1.b4 Ra4 2.Kb5 Kc7 3.b3 Kd6=

Sunouchi: End-points of white K are meaningful.

Crisan: Indeed – very good usage of the white King!

F944 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



H=3 (3+4)
b) bBc7 c) wRa3

A: 1.Kb5 c6 2.Ka6 Bc5 3.b5 Kb4=

B: 1.Bb6 cxb6 2.Kb5 bxa7 3.b6 a8=Q=

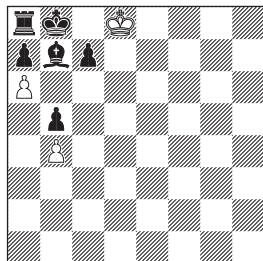
C: 1.Kb5 Rxa7 2.c6 Rxb7+ 3.Ka5 Rb6=

Sunouchi: =Q= is a climax in the triple stories.

Inoue: Same first move in a) and c).

Crisan: Imaginative twinning and nice diversity.

F945 Kankuh Kobayashi (Japan)
C+ After F921



H=3 (3+6)
b) +wPd7

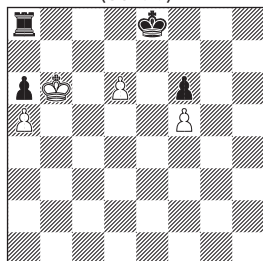
A: 1.c6 Kd7 2.Bc8+ Kxc6 3.Bd7+ Kxd7=
B: 1.Bc8 dxc8=B 2.c5 Be6 3.cxb4 Bb3=

Sunouchi: Bb3= (against 2 pawns) is delightful.

Inoue: Last position of b) was unexpected.

Crisan: The bicolor Phoenix in the twin is like the icing on the cake.

F946 Slobodan Šaletić (Serbia)
C+



H=3 (4+4)
b) Ra8→e6

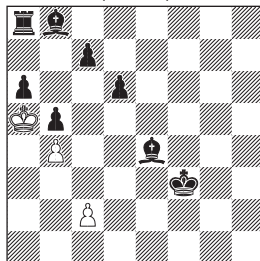
A: 1.0-0-0 Kc5 2.Rd7 Kc6 3.Rc7+ dxc7=
B: 1.Kd7 Kc5 2.Kd8 d7 3.Rd6 Kxd6=

Sunouchi: I love such a simple problem.

Inoue: Tempo move of K.

Crisan: An inspiring composition mixing black castling with black tempo. Is anyone able to do this more economically?

F947 Slobodan Šaletić (Serbia)
C+



H=6 (3+8)

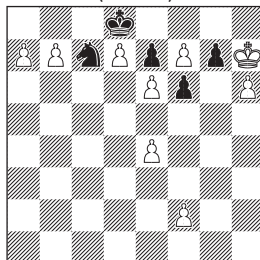
1.Ra7 c4 2.Ba8 c5 3.Ke4 cxd6 4.Kd5 d7
5.Kc6 d8=Q 6.Kb7 Qd7=

Author: Black Bristol B-K

Sunouchi: Pinned c7 looks like a gate-keeper.

Crisan: A good Excelsior and no captures at all.

F948 Sébastien Luce (France)



H==8 (9+5)
Checkless Chess

1.Se8 dxe8=S 2.Bg7 Sxg7 3.Kc7 a8=Q
4.Kd6 Qh8 5.Ke5 b8=R 6.Kxe4 Rg8 7.Ke5
f8=B 8.Kf6 f4==

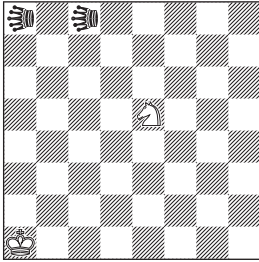
Author: AUW. Dans le tableau final les blancs ont quatre coups disponibles, mais

ils donnent tous échec...sans donner mat !

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: A difficult idea, masterfully shown.

Sébastien Luce
F949 Jacques Rotenberg
C+ (France, Israel)



H==9.5 3 Sols (2+2)

b) LOa8→h7

Locust a8 c8

Antipodean Circe

A: 1...Sc4 2.LOxc4-c3(Sg8) Kb1 3.LOxg8-h8(Sc4) Sb2 4.LOxb2-a1(Sf6)+ Kc2 5.LOxf6-e5(Sb2) Sa4 6.LOxa4-a5(Se8) Sc7 7.LOxc7-b8(Sg3) Kd3 8.LOxg3-h2(Sc7) Sd5 9.LOxd5-e5(Sh1) Sf2 10.LOxf2-e2(Sb6)+ Sc4==

1...Sc6 2.LOxc6-d5(Sg2) Kb2 3.LOxg2-h1(Sc6) Kc3 4.LOxc6-b7(Sg2)+ Kd4 5.LOxg2-h1(Sc6) Sb8 6.LOxb8-a8(Sf4) Sg2 7.LOxg2-f3(Sc6) Sa7 8.LOxa7-a6(Se3) Ke5 9.LOxe3-d3(Sa7) Sc6 10.LOxc6-d6(Sg2)+ Sf4==

1...Sg4 2.LOxg4-h3(Sc8) Kb2 3.LOxc8-d8(Sg4) Sh2 4.LOxh2-h1(Sd6) Kc3 5.LOxd6-d5(Sh2) Sf3 6.LOxf3-e4(Sb7) Sc5 7.LOxc5-b5(Sg1) Sf3 8.LOxf3-g2(Sb7) Sc5 9.LOxc5-d5(Sg1) Se2 10.LOxe2-d2(Sa6)+ Sb4==

B: 1...Sd7 2.LOxd7-e6(Sh3) Ka2 3.LOxh3-h2(Sd7) Se5 4.LOxe5-e4(Sa1) Sc2 5.LOxc2-b1(Sg6) Ka3 6.LOxg6-h7(Sc2) Kb4 7.LOxc2-b2(Sg6)+ Kc5 8.LOxg6-f5(Sc2)+ Kc4 9.LOxc2-d2(Sg6) Se5 10.LOxe5-d5(Sa1)+ Sb3==

1...Sc4 2.LOxc4-c3(Sg8) Sh6 3.LOxh6-h5(Sd2) Ka2 4.LOxd2-e1(Sh6) Kb35.

LOxh6-h7(Sd2) Sf1 6.LOxf1-g1(Sb5) Sc7 7.LOxc7-b7(Sg3)+ Kc4 8.LOxg3-g4(Sc7)+ Kc5 9.LOxc7-d7(Sg3) Se4 10.LOxe4-d4(Sa8)+ Sb6==

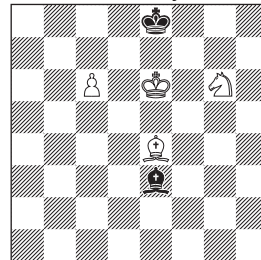
1...Sg6 2.LOxg6-f5(Sc2) Ka2 3.LOxc2-b1(Sg6) Sf8 4.LOxf8-g8(Sb4) Sc2 5.LOxc2-d3(Sg6) Kb2 6.LOxg6-h7(Sc2) Kc3 7.LOxc2-b1(Sg6) Sf8 8.LOxf8-e8(Sb4) Kd4 9.LOxb4-b5(Sf8) Se6 10.LOxe6-e5(Sa2)+ Sc3==

Authors: Six stalemates in echo! Each time, black King is stalemated on a different square!

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: An improved version of F981 published in Problem Paradise 85.

F950 Andreas Thoma
C+ (Germany)



ser-H#5 (4+2)

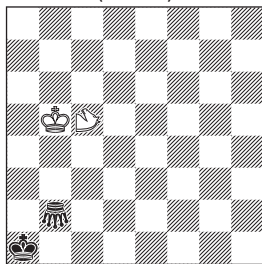
WandelSchach

1.Bf4 2.Bb8=S 3.S:c6 4.Sd8=Q 5.Qd1=w Bc6#

Sunouchi: The symmetric chart is valuable.
Inoue: Final move came to mind at first, and it means Pc6 must be removed.

Crisan: I think WandelSchach deserves further exploration.

F951 Eligiusz Zimmer
C+ (Poland)



ser-H#13 (2+2)
Grasshopper b2 Dragon c5

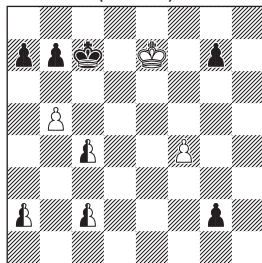
- 1.Gb6 2.Kb2 3.Kc3 4.Kd4 5.Ke5 6.Kf6
- 7.Ke7 8.Kd8 9.Kc7 10.Gd8 11.Kb8 12.Ga8
- 13.Ka7 DRc6#

Sunouchi: Avoid mines. Go over and then surrender.

Inoue: Mating position can be easily found in this layout.

Crisan: Even after finding the mating position, the sequence of moves requires precision!

F952 Sébastien Luce
C+ (France)



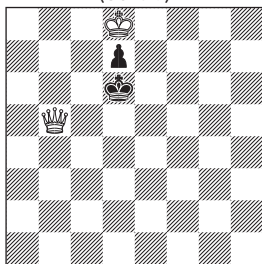
ser-H#15 (3+5+3)
Neutral Pawn a2 c2 c4
Alphabetical Chess

- 1.a1=nR 2.nRa6 3.nRb6 4.a:b6 5.c1=nQ
- 6.nQa1 7.nQa8 8.nQg8 9.c3 10.c2
- 11.c1=nB 12.nBe3 13.nBg1 14.nBh2
- 15.g1=S f5#

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: An AUW with neutral Rook Ceriani-Frolkin and the black Knight blocking the promoted neutral Bishop.

F953 Miroslav Cvetković (+)
C+ (Serbia)



ser-H=12 (2+2)

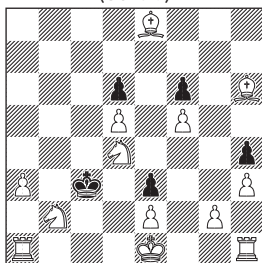
- 1.Ke6 2.d5 3.Ke5 4.Kd4 5.Kc3 6.d4 7.d3
- 8.d2 9.d1=B 10.Bb3 11.Kb2 12.Ka1
- Qxb3=

Sunouchi: Brilliant black pair towards corner of rink.

Inoue: Stalemate position by one queen.

Crisan: Good content for a Wenigsteiner: Excelsior ending with a minor promotion.

F954 Slobodan Šaletić
C+ (Serbia)



ser-H=13 (set) (13+5)

- (*)1...0-0=
- 1.Kxd4 2.Kc5 3.Kb6 4.Kc7 5.Kd8 6.Kxe8
 - 7.Kf7 8.Kg8 9.Kh7 10.Kxh6 11.Kg5 12.Kf4
 - 13.Kg3 0-0=

Sunouchi: Long distance trip to castle in the other side.

Inoue: Set play suggests final move is 0-0.
 Crisan: Sometimes guessing the theme helps a lot!

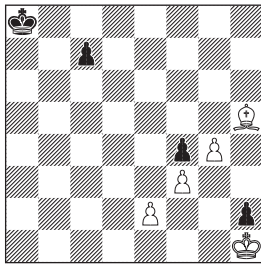
Author: Miniature. Long walk of black King with returns. Excelsior.

Sunouchi: Finally black K becomes Camel in a cage.

Crisan: Last two problems were solved correctly only by Seiichiro! I simply love your enthusiastic comments.

Congratulations, Seiichiro, for solving the most original fairy problems. Very good performance for Junichi and Akira – I also applaud you very pertinent comments! Encouragements to Katsuhisa for solving correctly 3 problems! Hope all of you will be able to solve more and better the numerous originals from this issue.

F955 Ľuboš Kekely
 C+ (Slovakia)



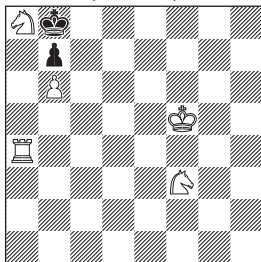
ser-HS#15 (5+4)
 Transmuted Kings

1.c5 2.c4 3.c3 4.c2 5.c1=S 6.Sd3 7.Se58.
 Sxg4 9.Se5 10.Sxf3 11.Sg1 12.f3 13.f2
 14.f1=R 15.Re1 & 1.Bf3+ Sxf3#

Sunouchi: Rhythmical steps by S to capture 2 pawns.

Crisan: A lovely gem, with promotions and specific mate.

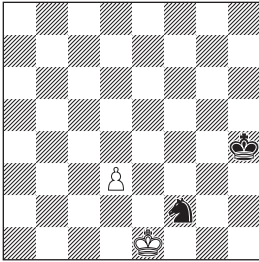
F956 Ľuboš Kekely
 C+ (Slovakia)



pser-H#24 (5+2)
 Camel f3
 Transmuted Kings

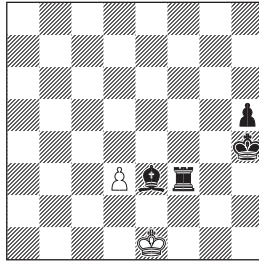
1.Kc8 2.Kd7 3.Kc6 4.Kb5 5.Kxa4 6.Kb57.
 Kc6 8.Kd7 9.Kc8 10.Kb8 11.Kxa8 12.Kb8
 13.Kc8 14.Kd7 15.Kc6 16.Kxb6 17.Kc7
 18.b5 19.b4 20.b3 21.b222.b1=Q+ CAc2
 23.Qb5+ Ke6 24.Kc8 CA d5#

R262 Andreas Thoma
(Germany)



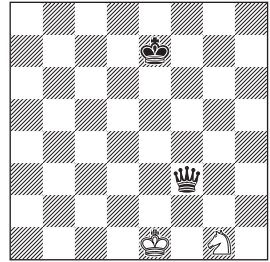
-10 & #1 (2+2)
Proca Retractor
AntiCirce Calvet

R263 Andreas Thoma
(Germany)



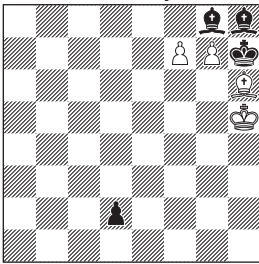
-9 & #1 (2+4)
Proca Retractor
AntiCirce Cheylan
No Forward Defense

R264 Andreas Thoma
(Germany)



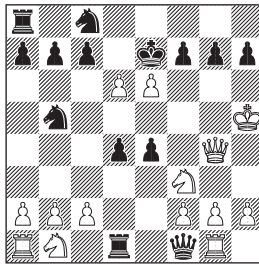
-5 & S#1 (2+2)
Proca Retractor
AntiCirce Cheylan
2 sols.

R265 Andreas Thoma
(Germany)



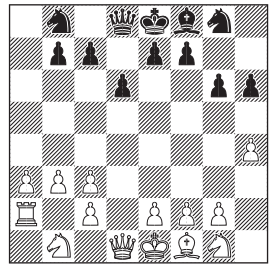
-3 & #1 (4+4)
Proca Retractor
AntiCirce Cheylan
2 sols.

R266 Akira Uchida
C+ 内田 昭



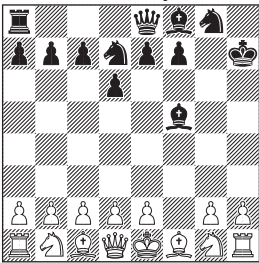
Proof Game 17.5 (14+14)

R267 Akira Uchida
C+ 内田 昭



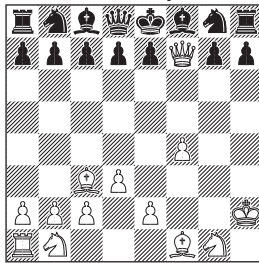
Proof Game 9.5 (14+12)

R268 Bernd Gräfrath
C+ (Germany)



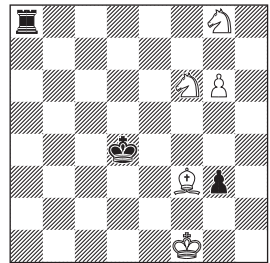
Proof Game 9.0 (15+13)
Growing Men

R269 Bernd Gräfrath
C+ (Germany)



Proof Game 9.5 (13+15)
Growing Men

R270 Paul Răican
(Romania)



-17 & =1 (5+3)
Proca Retractor
Circe Assassin

Retro

Retro Editor

Naoki Matsuzaki (松崎直樹)

Judge 2019-2020

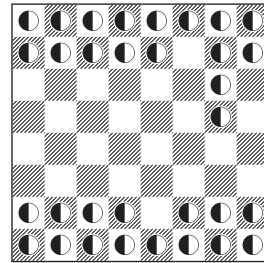
Thomas Brand (Germany)

☆今回は RetraCTOR 5 作と PG4 作の計 9 作です。最初の 3 つは難解です。R262 は S が利かないように g8 を塞ぐ必要があり、そのために黒がダブルチェックした局面を作ります。その後 wK は e1 に戻り、e8 を塞いでから K 単騎で詰まします。wP は動きません。R263 も e8 を塞いで K 単騎で詰まします。P が利かないように g7 を塞がせます。wP で駒取りを逆算できるような P を初形に戻すのですが、このとき斜めにチェックがかかった状態にします。R264 は両解とも最後に wK でチェックし、bK が逃げたら白が詰むような形になるよう、-2 手目に bK を 8 段目に戻します。-3 手目に S で黒駒を逆算するのですが、各解で黒駒のマス目の色が異なります。R265 は黒の手に選択の余地がないので容易だと思います。R266 は白黒の P がどのような手順で入れ替わったのか考えてください。手数を計算してから最終手数を逆算してみると分かりやすいと思います。R267 はヒントなしで出題します。R269 は R268 の version として投稿いただいたもので、白黒逆で似た手順が登場します。このルールは初採用ですが、易しめなので客寄せの意味も込めて両方掲載します。Growing Men は、駒の移動距離はその駒が前回動いた距離未満であってはならない、というルールです (これとは逆に、超えてはならないルールを Shrinking Men といいます)。K が線駒の利き筋に入っても、距離が短ければチェックはかかりません。R270 は難解です。取られた駒は初形の駒を排除して再生するルールで、

wK のあるマスが初形位置となる白駒に黒駒が利いているとチェックとなります。そのような局面に逆算し続け、bK を隅に追い詰めていき、最後にスタイルメイトにします。解きやすいものもありますので、一部だけでも解いてみてください。解答をお待ちしています。

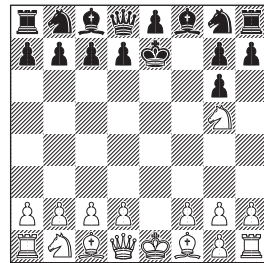
Issue 84 (R250-253)

R250 Arnold Beine
C+ (Germany)



Proof Game 4.0 (0+0+32)
32 undefined pieces
White mates in 1
Annan Chess

R250-sol



(16+16)

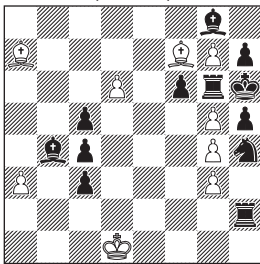
1. Sf3 fg6 2. fg1 ef7 3. Sg5 Ke7 4. ef2 fe8 5. cxg6#.

出題時に補足した通り、P が 1 段目に動く

手順も合法としている。1 段目の P は、自身は動けないが上の駒を P の働きにする。ダブルステップは 2 段目から動く場合に限り合法となる。図の局面から wP を S の上に動かして詰ますのだが、bK と bP の位置が入れ替わっているのがポイントで、K の利きが P のものになっているため逃げられない。白の手順は、wS の下の P を退かせ、S を本来の利きに戻して g5 に動かした後、横の P を動かすという流れとなる。

Author: Interchange of bK and bP, Sibling (wPf2), Annan specific mate.

R251 Klaus Wenda (Austria)

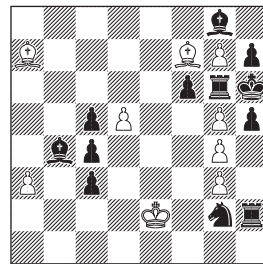


-7 & #1 (9+12)
Proca Retractor
AntiCirce

-1. Ke2-d1! Sg2-h4+ -2. Pd5-d6!
Zugzwang Ba5-b4 [Black starts a pendulum] -3. Bb6-a7 Bb4-a5 -4. Ba7-b6 Ba5-b4 -5. Bb6-a7 Bb4-a5 -6. Ba7-b6! [that's a legal move, see theme description] Pc7-c5! [forced to declare -6. Ba7-b6 as legal move] -7. Bg1-a7 & 1. Bxh2(Bc1)#
Thematical try: -1. Kc2-d1? Sg2-h4+ -2. Pd5-d6 Ba5-b4 -3. Bb6-a7 Bb4-a5 -4. Ba7-b6 Ba5-b4 -5. Bb6-a7 Bb4-a5 -6. Ba7-b6? [this move is illegal now, see theme description]

Description of the theme: The main question is the legality of -6. Ba7-b6. The position arising is on the first view identical with that after -2. Pd5-d6, this means you'll see it optically for the third time. Nevertheless there is a subtle difference between both positions: White has an additional option to move: Pd5xc6ep.(Pc2) which is proved by move B6 Pc7-c5! This is forced to ensure the legality of W6. In the try the square c2 is occupied preventing an ep.-uncapture, therefore White was not allowed to move -6. Ba7-b6.

途中図



(9+12)

-2. Pd5-d6, -4. Ba7-b6 and -6. Ba7-b6

まずは wK を e2 か c2 に戻して bS が動けない形にすると、他に逆算できる黒駒は bBb4 と bPc5 だけとなる。bPc5 がなければ wBg1-a7 から Rh2 を取って詰むので、この bP を戻させることができればよい。同形三復ルールにより最終的に手を変えなければならなくなるのだが、単純に進めると手を変える義務が白の側にあることになってしまう。この義務を免れるために wPd5 と戻す。ここで同一局面の定義を確認しておく。FIDE Laws of Chess の 9.2 に次のような文章がある。

"Positions are not the same if a pawn that could have been captured en passant can no longer be captured in this manner. When a king or a rook is forced to move, it will lose its castling rights, if any, only after it is moved."

つまり駒の配置が同じであっても、アンパッサンやキャスリングの権利を失った場合には同一局面とならない。したがって白は図のように三回逆算することが可能で、黒の-6手目はダブルステップに限定される。似たようでも最初にKc2-d1?としてしまうと、Pの初形が塞がっているためこの論法が使えない。

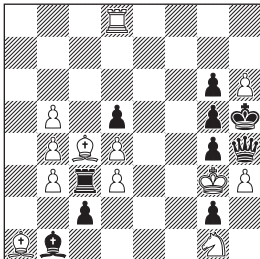
井上：初手はこれ (Ke2-d1) しか思い浮かばなかったの、「初手を二通りに絞り込む」の意味がよくわからなかった。

☆単にwKを戻す場所がe2とc2の二通りある、という意図でした。この二つは作意とtryの対照にもなっています。

Author: G.Weeth has shown the ep.-idea recently in another matrix in Julia's Fairies, Sept. 2018, no.1322, however the thematic try seems to be as far as I know entirely new.

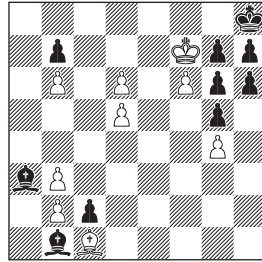
☆作者コメント中の作品と、その参考作品を紹介します。本作と同様、同形三復ルールとアンパッサンがテーマとなっています。

Cf1 Günther Weeth
Julia's Fairies No.1322 (2018)



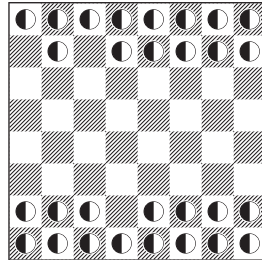
-11 & #1 (12+10)
Proca Retractor
AntiCirce

Cf2 Wolfgang Dittmann
Die Schwalbe 2011 2nd Pr



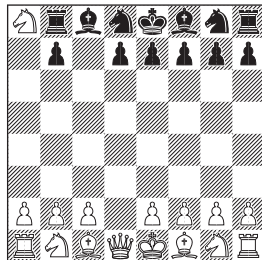
-16 & #1 (9+10)
Proca Retractor
AntiCirce

R252 Michael Schlosser
C+ (Germany)



Proof Game 5.0 (0+0+29)
29 undefined pieces
White mates in 1

R252-sol

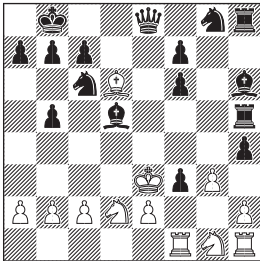


(16+13)

1. d4 c5 2. dxc5 Qb6 3. cxb6 Sc6 4. bxa7 Rb8 5. a8=S Sd8 6. Sc7#

出題図の局面から1手で詰む形。手数からbKが動いたとは考えづらいのでe8に残っていると仮定すると、wSで smothered mate にすればよいと分かる。白の手数はPをa8で成るまで丁度5手で、駒を3つ取っている。黒はwSを取れないようにbQを捨て、代わりにbSでbKの逃げ道を塞ぐ。

R253 Hitoshi Yanami
C+ 屋並 仁史



Proof Game 18.0 (12+16)

1. g3 h5 2. Bg2 h4 3. Bc6 dxc6 4. d4 Be6 5. Qd3 Qd7 6. Qb5 cxb5 7. Bf4 Sc6 8. Kd2 0-0-0 9. Ke3 Qe8 10. Sd2 Rd5 11. Rf1 Rdh5 12. d5 Kb8 13. d6 Bd5 14. d7 e5 15. d8=B e4 16. Bf6 gxf6 17. Bd6 Bh6+ 18. f4 exf3 ep.+

QとBのダブルチェックがかかっているので、最終手はexf3のアンパッサンしかない。さらにbPの配置と手数計算から残りの白駒が取られた場所も特定でき、wBf1-g2-c6, wQd1-d3-b5, wPd2-...-d8=B-f6となる。dファイルに目を向けると、bRの経路(a8-d8-d5-h5)がwPの経路と重なっているので、黒が先に動いて空ける必要がある。そこでなるべく早くキャスリングできるように進めると作意手順に辿り着く。

内田：黒の18手目にシビれました。

作者：WCCC2018のChampagne Tourneyを見て、テーマのValladao(en passant,

castling, promotionを全部入れる)を試みたのですが、WCCC2018には参加できず、Champagne Tourneyの締切にも間に合いませんでした。しかしen passant入りのProof Gameを作ったのは初めてなのでProParaに投稿しました。

☆ Tourneyの募集要項は<https://wccc2018.com.mk/wp-content/uploads/2018/08/champ18.pdf>、結果はhttps://wccc2018.com.mk/wp-content/uploads/2018/09/award_Champagne_3.pdfにあります。

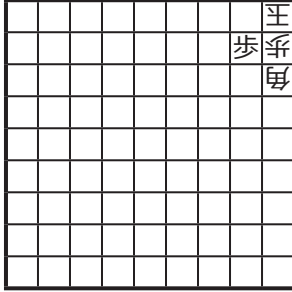
参考作品の解答

R251-Cf1. Günther Weeth

-1. Se8xBc7(Sg1)! B ~ -c7+ -2. Rd7-d8 Bd8 ~ ~+ -3. Rg7-d7 zz Ba2-b1 -4. e7-e8=S Bb1-a2 -5. e6-e7 Ba2-b1 (d7-d5? short mate as bPd7 is immobile, see black PP-captures) -6. e5-e6 (the position aimed at) Bb1-a2 (black pendulum start) -7. Bb2-a1 Ba2-b1 -8. Ba1-b2 Bb1-a2 -9. Bb2-a1 Ba2-b1 -10. Ba1-b2 (legal, see en passant option, move rights due to FIDE convention) d7-d5 (forced) -11. Bf7-c4 & 1. Rxc6(Rh1)#

(Continued on p.46)

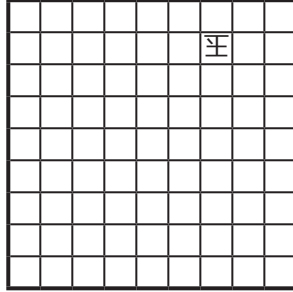
U260 KOUSAKA Ken
高坂 研



▲ 飛角

点鏡協力詰 3手

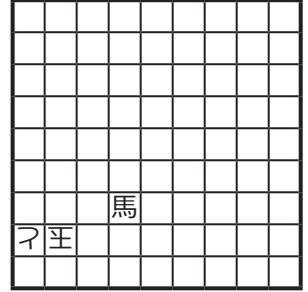
U261 KOUSAKA Ken
高坂 研



▲ 金銀桂

点鏡協力詰 5手

U262 KOUSAKA Ken
高坂 研



▲ 角桂

点鏡協力詰 5手

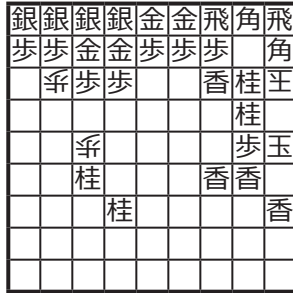
U263 UCHIDA Akira
内田 昭



▲ 歩歩 ▼なし

ブルーゲーム 17手

U264 DEGUCHI Nobuo
出口信男



▲ 歩 8

王手愛
S#302

Shogi

Shogi Editor

AIBA Takehiro (会場健大)

Judge 2018-2020

SUDO Daisuke (須藤大輔)

【点鏡】

55を中心として点対称な位置にある駒は敵味方問わず利きが入り替わる。行き所のない駒の

禁はなし。

【ブルーゲーム】

実戦初形から与えられた手数で指定の局面に至る手順を求める。

【王手愛】

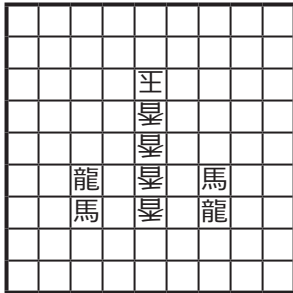
先後双方とも、それが可能である限り王手を選択しなければならぬが、王手が不可能な局面では任意の手を選択できる。

【S#n】

チェスのセルフメイトに同じ。将棋式に数えれば2n手。

U252 DEGUCHI Nobuo

出口信男



▲ なし

打ち放題詰

54 馬、同玉、55 馬、同玉、
56 龍、同玉、57 龍、同玉、
49/58/58/69 香まで 9 手。

☆一度に持駒を何枚でも打つことができる打ち放題詰というルール。U255 の打ち尽くし詰と通じる部分もあり、導入として最適な出題と考えた。かしこなので相手の抵抗を読まなければならぬが、下に落ちる手は攻め方が強く簡単に詰む。作意はばさばさと香の柱を取り尽くしてしまい、最終手でこれでもかと叩きつける。趣向的な初形、4 連続大駒捨て、一直線に上がってくるだけの玉と全体的にユーモアを感じさせながらも、このルールならではの最終手、詰上がりになるところなどポイントが押さえられているといえよう。

井上：合駒の機会を与えては詰まないのが初手は絶対で、そうすると狙いが見えてくる。詰上りが初形の縮小コピー？

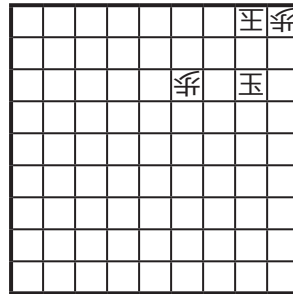
及川：このルールの入門作としてぴったりの佳作。

駒井：変化があるのに協力詰のような手順。

原岡：思わず笑いました。

星野：一度に香がどさどさと落ちてくる映像が浮かんできて怖い。

高坂 研



▲ 銀

協力詰 5 手

透明駒 1+2

b) 43 歩→31 歩

- a) 22 銀、1x22、--I、41 角、--I まで 5 手。
- b) 12 銀、1x12、--I、43 飛、--I まで 5 手。

☆作意はきれいに対照性のあるものだったが、残念ながら余詰。後述。

☆まず a では 22 に玉方の透明駒を移動させてから無視することで角が可視化される。41 角合に対しての-I は 32 への着手でしかありえず、かつ角が 2 枚見えているのでこれは金が銀のどちらかであり、いずれでも詰み。次に b では 12 で駒取りができてかつ 3 手目に手抜ける駒ということで今度は飛車が可視化される。続く合駒の 43 飛に対する着手は 33 へのもののみであり、ルールから桂であることとなって詰み。3 手目に現れる駒の意味が a では売り切れさせるものであるのに対し b ではただ詰みに無関係な位置に固定する意味しかなく、その対照性の弱さは作者も自認するところ。しかし全体的に完成度の高いツインと思っていたのだが…。

星野：a) --I、--I、--I、31 飛、32 銀まで。

駒井：a) 33 玉、31 玉、--I、42 飛、32 銀まで。

b) 14 玉、12 玉、--I、34 角、13 銀まで。

☆同様の指摘が九尾氏からも。もっと腰を据えて読むべきだったのだが、作意に惚れてしまい余詰が見えなかった。粗検深謝。

U254 SATOH Ichiro

佐藤一郎

歩	歩	歩	銀						
	王								
			銀						
			馬						

▲ 桂

キルケ協力詰 17 手

99 桂、88 玉、77 銀、99 玉 /89 桂、
88 銀、98 玉、99 銀、87 玉、
98 銀、同龍 /79 銀、78 銀、同角成 /79 銀、
88 銀、同馬 /79 銀、同銀 /22 角、同角生 /79 銀、
78 銀まで 17 手。

誤解：99 桂、88 玉、77 銀、同玉 /79 銀、78 銀、
同角生 /79 銀、同銀 /22 角、88 玉、77 銀、
99 玉 /89 桂、88 銀、98 玉、99 銀、87 玉、
98 銀、同龍 /79 銀、88 銀、同角生 /79 銀、
78 銀まで 19 手。

☆詰上がりは見えているのだが、そこに局面を進めるまでの手順が問題。88 に必要なのは生角なのだが、そのために一度成らせるといふ発想が浮かぶかどうか。

作者：キルケの「成駒を生駒になって戻る」ルールを利用して、成駒を生駒に戻るのが狙い。直前に成る手を加えることで、生→成→生というややこしいプロセスにしてみました。そういう意味では前半 10 手は蛇足なのかもしれませんが、少しでも紛れをもたせかけたのと、銀の移動回数を増やしたかったのも事実。

☆一度 78 に成らせなければ 88 に行くことはできず、88 以外の位置で取らせると詰上がりの形が崩れてしまう。そのために、生で運びたい地点に一度成らせた馬を送っていく必要があるのである。

九尾：キルケ初挑戦。倒しても倒しても現れる 79 銀には恐怖を感じます。

星野：歩が取れないので、詰上りはほぼ思いつ

く。

及川：既視感のある手順。

U255 DEGUCHI Nobuo

出口信男

馬			皇			我	馬
龍	我						
					銀		
金			皇				
			銀	我			
飛							皇
	玉						と
		と	と	と	と	と	金
我	王						香

▲ 歩 8

打ち尽くし詰

A=「88 と、79 玉、78 と右、69 玉、
68 と右、59 玉、58 と右、49 玉、
48 と右、39 玉、38 と右、29 玉」、
28 金、19 玉、18 金、29 玉、

B=「28 と、39 玉、38 と左、49 玉、
48 と左、59 玉、58 と左、69 玉、
68 と左、79 玉、78 と左、89 玉」、
99 飛、同玉、19 歩 /29 歩 /39 歩 /49 歩 /59 歩 /69 歩 /79 歩 /89 歩 /98 金、89 玉、

A、28 金、19 玉、18 金、29 玉、
B、88 金、99 玉、94 龍、同桂、
98 金、89 玉、A、19 金、同玉、

54 銀、46 金、同馬、同香、
18 金 /47 歩、29 玉、B、99 金、同玉、
33 馬、同桂、88 銀、89 玉、
79 とまで 105 手。

井上：打ち尽くし詰のルールですが、持駒に歩が 10 枚あった場合、二歩にならないように打てるだけ打って残りは打たなくてもいいのか、駒を打つことができなくなるのか、どちらなのでしょう。新しいルールの場合は、ネットで検索して調べる（フェアリーではよくやりません）こともできないので、詳細まで記述しておいてもらえると助かります。

☆打つことができなくなるというのが想定でした。ここは担当の責任でして、気を付けたいと

思います。ご指摘ありがとうございます。
☆金知恵の輪の構図。すぐに収束手順の99 飛
～94 龍に入ることもできるが、なにも準備せ
ずにそれをやると合駒時に玉方の持駒を打ち尽
くされて逆王手で逃れてしまう。たとえば95
桂/96 銀/97 金/どこかに歩など。そこで、
玉方に過剰に歩を渡しておくことでそれを防ぐ
のが趣向の意味づけ。下段の取られる位置に歩
を打ち尽くして合駒を無効化してしまえば収束
手順に入れる。駒を渡すための打ち尽くしの際
に邪魔になる19 番の消去でも一往復させてい
るのは芸が細かい。

☆長手数だが比較の見えやすく、解答者は全員
作意解。しかし……

作者：97 手目より89 と、同玉、12 馬以下早詰。
あっけない早詰で大変失礼しました。修正は玉
方21 桂を23 金に、詰手順は102 手目の同桂
を同金に変更。

☆収束で早詰があった！ 趣向手順の中でもあ
り完全にわかり。こちらも粗検深謝します。
九尾：二歩禁利用に気付いて前進。取った歩の
使い方がうまいですね。

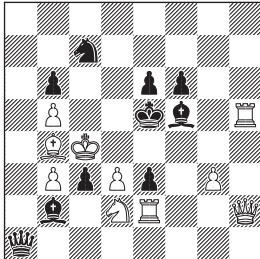
駒井：歩が10 枚になると持駒が死んでしま
うんですね。ほかにこのルール面白い使い方は
あるのでしょうか？

及川：なんとしても解きたかったのですが、途
中で詰まってしまい……。降参。

S コース

(Continued from p.22)

S236 Aleksandr Pankratiev
C+ (Russia)



S#3

(10+10)

1.Qg2 (2.Qd5+(A) Sxd5 3.Rxe3+(B)

Sxe3#)

1...Qg1,Qe1 2.Rxe3+(B) Qxe3 3.d4+(C)
Qxd4#

1...Sxb5 2.d4+(C) Sxd4 3.Qd5+(A) exd5#

☆上記の3ラインで(A)(B)(C)の3つの手
がサイクリックになっています。なお、解答と
しては以下も答える必要があります。

1...Qh1 2.Qe4+ Qxe4+ 3.d4+ Qxd4#

若島：最初の3変化がWhite cycle。1...Qh1
の変化はadditionだが、これはこれでいい。

☆きれいにできています。

<総評>

若島：こういうセレクションを歓迎します、と
いうつもりで解答を出します。長いものばかり
はちょっと……。

R コース

(Continued from p.42)

R251-Cf2. Wolfgang Dittmann

-1. Bb4xPa5(Bc1)! Ba2-b1 -2. Kf8-f7!!
Bb1-a2 -3. b5-b6! Ba2-b1 -4. Kf7-f8
Bb1-a2 -5. Kf8-f7 Ba2-b1 -6. Kf7-f8 a6-
a5!! -7. Kf8-f7 Bb1-a2 -8. Kf7-f8 Ba2-b1
-9. Kf8-f7 Bb1-a2 -10. Kf7-f8 a7-a6 -11.
Kf8-f7 Ba2-b1 -12. Kf7-f8 Bb1-a2 -13.
Kf8-f7 Ba2-b1 -14. Kf7-f8 c3-c2 -15.

Bc5-b4 ~ -16. Bd4-c5 & 1. fxxg7(Pg2)#

-1. e7xS/Bd8=B(Bc1) & 1. e8=Q#? illegal
capture balance of wPP

-1. Bb4xPc5(Bc1)?? illegal capture balance
of bPP

-1. Bb4xBa5=B(Bc1)? Ba2-b1! Black starts
a pendulum

-2. b5-b6? Bb1-a2! Black starts a
pendulum

-6...Bb1-a2? -7. Kf8-f7!! a7-a5

Problem Paradise

Informal Tourney Award

Studies 2018

Judge: Mario G. García

A special thanks to the editors of the magazine Problem Paradise, in particular to the Tournament Director Hiroshi Manabe for having appointed as a judge of such an important event, and also to all participants of this tournament.

The Director sent me the studies for evaluation, with diagrams and solutions in files (Word-and-PGN).

Given the considerable variety of themes addressed by the composers, and good artistic and technical level of the studies, this has allowed me to expand the number of awards, mentions and recognitions.

Participants: Bizya Buyannemekh (Mongolia), Michal Hlinka (Slovakia), Pavel Arestov (Russia), Jan Timman (Netherlands), Luboš Kekely (Slovakia), Daniele Gatti (Italy), Peter S. Krug (Austria), Valery Kalashnikov (Russia), Daniel Keith (France), Peter Gyarmati (Hungary), Andrzej Jasik (Poland), Marco Campioli (Italy), Ilhan Aliev (Azerbaijan) and Franco Bertoli (Italy).

There are 23 studies of 14 composers from 10 countries.

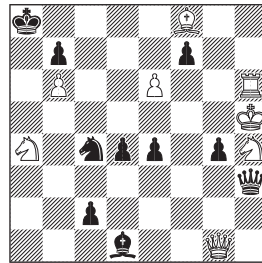
My ranking is as follows.

SECTION 1) WIN-STUDIES

1st Prize

E094

Andrzej Jasik
(Poland)



Win

(8+10)

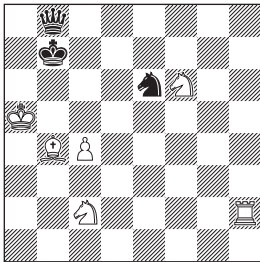
1.Nb2! with the following lines: A) [1.Qg3? Qxg3 2.Bd6 Nxb6 3.Bxg3 fxe6 4.Nxb6+ Ka7 5.Nc8+ Ka8=] 1...Nxb2 [B] 1...Qh2! 2.Bd6! (2.Bg7? g3+ 3.Nxd1 Qe2+! 4.Nf3 Qxf3+ 5.Kh4 Qf4+ 6.Kh3 Qf5+ 7.Kh4 Qf4+=) 2...g3+ 3.Nxd1 Qxg1 4.Rh8#]; C) 1...Qb3 2.Rh8! Nxb6 (2...g3+ 3.Nxd1 cxd1Q+ 4.Qxd1 Qxd1+ 5.Kh6 Nxb6 6.e7+-) 3.Bc5+ Ka7 4.Bxb6+ Qxb6 5.Rc8 Qb5+ 6.Kh6 Qe5 7.Ng6! Qxe6 (7...fxg6 8.Nxd1+-) 8.Qxd4++-] 2.Qg3!! Qxg3 [2...c1Q 3.Qb8+! Kxb8 4.Bd6+ Kc8 5.Rh8#] 3.Bd6 Qxd6 4.Rh8+ Qb8 5.Rxb8+ Kxb8 6.e7! [6.exf7? c1Q 7.f8Q+ Qc8 8.Qd6+ Ka8 9.Qa3+ Na4+-] 6...g3+ 7.Nf3 Bxf3+ 8.Kh4 c1Q 9.e8Q+ Qc8 10.Qe5+ Ka8 11.Qa5+ Kb8 12.Qa7# mate

Three lines with univocal sequences, culminating in mate, tries and tactical sacrifices, make this an excellent study.

2nd Prize

E090

Daniel Keith
(France)



Win

(6+3)

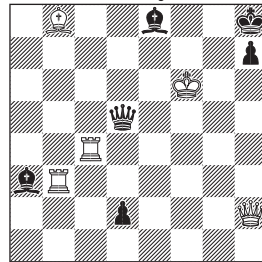
1.Rh7+ Kc6 2.Ka4! [2.Ba3? Qd8+ / b6=] 2...Qf4 3.Bc3! [3.Nd7? Qe4! 4.Nb8+ Kb6 5.Ba5+ Kc5 6.Na6+ Kxc4=] 3...Qxc4+ [3...Nc5+ 4.Ka5! Qxc4 (4...Nb7+ 5.Kb4 Qd6+ 6.Kb3 Qd1 7.Kb2 Qe2 8.Nd5 Nc5 9.Nde3+-) 5.Nd4+ Kd6 6.Ne8+ Kd5 7.Rh5+++; 3...Kc5 4.Na3+-] 4.Nb4+ Kd6! [4...Kc5 e.g. 5.Nd7+ Kd6 6.Be5#; 4...Kb6 e.g. 5.Nd7+-] 5.Rd7+ [5.Ne8+? Kc5 6.Rh5+ Kb6=] 5...Kc5 6.Rd5+ [6.Rd2? Qb5+ 7.Ka3 Kc4 8.Nfd5 Qc5 9.Kb2 Kb5 10.Be5 Qc4 11.Rc2 Qg4=] 6...Kb6 7.Be5! Nc5+ [7...Ka7 8.Ra5+ Kb7 9.Rb5+ Ka7 10.Nd7 Qc1 11.Rb6 Nc5+ 12.Kb5 Nxd7 13.Nc6+ Ka8 (13...Qxc6+ 14.Rxc6+- domination) 14.Ra6+ Kb7 15.Ra7+ Kc8 16.Rc7# mate; 7...Qc1 8.Rd6+-] 8.Rxc5 Kxc5 [8...Qxc5 9.Nd7+-] 9.Nd7#

Remarkable study of domination with mates and fork. Surely to the liking of the fans of the resolution.

3rd Prize

E095

Ilham Aliev
(Azerbaijan)



Win

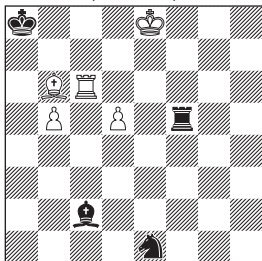
(5+6)

1.Qe5! [1.Be5? Qf7+ 2.Kg5+ Kg8 3.Rg3 d1Q 4.Kh6+ Qg6+=] 1...Qf7+ [MAIN : 1...Qxe5+ 2.Bxe5 d1Q 3.Rb8 (3.Rc8? Qd7 4.Rxe8+ Qxe8 5.Rb8 Qxb8 6.Kf7+ Qxe5=; 3.Ke6+? Kg8 4.Rg3+ Bg6 5.Rxa3 Qd8=) 3...Qd7 4.Rxe8+ Qxe8 5.Rc8 Qxc8 (5...Be7+ 6.Ke6+-) 6.Kf7# mate] 2.Kg5+ Kg8 3.Rg3 d1Q 4.Kh4+! [4.Kh6+? Kf8 5.Qh8+ Ke7 6.Re3+ Kd8 7.Rd4+ Bd6 8.Rxe8+ (8.Rxd6+?? Qxd6+ 9.Bxd6 Qg6#) 8...Qxe8 9.Qf6+ Kc8=] 4...Kf8 5.Qh8+ Ke7 6.Re3+! [6.Rc7+? Bd7 7.Re3+ Qe6=] 6...Kd8 [6...Kd7 7.Rc7+ Kd8 8.Rxf7+-] 7.Rd4+ Bd6 8.Rxd6+ [8.Rxe8+? Qxe8 9.Qxe8+ Kxe8 10.Rxd1 Bxb8=] 8...Qxd6 9.Bxd6 Qf2+ 10.Rg3!+-

In a configuration that contains "heavy" pieces, an ingenious combination of two lines that achieve the objective in a different way is presented.

Special Prize

Michal Hlinka
E079
Lubos Kekely
(Slovakia)



Win (5+4)

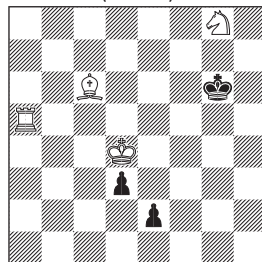
1.d6 Re5+ [1...Rxb5 2.d7 Re5+ 3.Kf8 Rd5 4.d8Q+ Rxd8+ 5.Bxd8+-; 1...Bd3 2.d7 Re5+ 3.Kf8 Rd5 4.d8Q+ Rxd8+ 5.Bxd8 Bxb5 6.Rb6+-] 2.Kd8! [2.Kd7? Kb7 3.Bf2 Bf5+ 4.Kd8 Rxb5=] 2...Bf5 [2...Rxb5 3.Kc7 Bf5 4.Rc1+-; 2...Be4 3.d7 Kb7 4.Bd4 Rxb5 5.Rc7+ Kb8 6.Ke7 Rd5 7.d8Q+ Rxd8 8.Kxd8+-; 2...Rh5 3.d7 Bf5 4.Bf2 Rh7 5.Rc8+ Kb7 6.Rc7+ Ka8 7.Bxe1+-] 3.Kc7! [3.Bf2? Rxb5 4.Bxe1 Bg4=; 3.Bc5? Nd3 4.Ra6+ Kb7 5.Rb6+ Ka8 6.Bd4 Re1 7.d7 Nb4 8.Kc7 Rc1+ 9.Kd6 Bxd7 10.Kxd7 Rd1=] 3...Re8 [3...Rxb5 4.Rc1+-] 4.d7 [4.Bf2? Rc8+ 5.Kb6 Rb8+ 6.Ka5 Re8 7.Ra6+ Kb8 8.Bg3 Bd7=] 4...Bxd7 [4...Re7 5.Rf6! Bxd7 6.Bc5 Re6 7.b6!+-] 5.Kxd7 Rb8! 6.Bc7! Rxb5 [6...Rg8 7.Bd8!+-] 7.Kc8 Rb7 [7...Ka7 8.Rc1+-] 8.Rc3! Ng2 9.Bb6! Rb8+ 10.Kc7 Rb7+ 11.Kc6 with : A) 11...Nf4 [B) 11...Nh4 12.Re3 (12.Rg3? Nf5 13.Rd3 Ne7+=) 12...Nf5 (12...Ng6 13.Re8+ Rb8 14.Re6+-) 13.Re8+ Rb8 14.Re5 (14.Re1 is loss of time; 14.Re2? Rc8+ 15.Bc7 Nd4+=) 14...Nd4+ 15.Bxd4 Rc8+ 16.Kb6 Rb8+ 17.Ka6+- wins(17.Kc7? Rb7+ 18.Kc6

Rc7+! 19.Kb6 Rb7+ 20.Ka6 Ra7+ 21.Bxa7 stalemate)] 12.Ra3+ Kb8 13.Rg3! [13.Re3? Rxb6+! 14.Kxb6 Nd5+=] 13...Rxb6+ 14.Kxb6 Nd5+ [14...Kc8 15.Kc6 Kd8 16.Kd6+-] 15.Kc6 Ne7+ 16.Kd7+-

With an introduction that contains interesting tries and complementary variations, two themes are combined, averaging the sequence: the domination of the Rook to the Knight and of RB vs R.

Special Prize

E089
Valery Kalashnikov
(Russia)



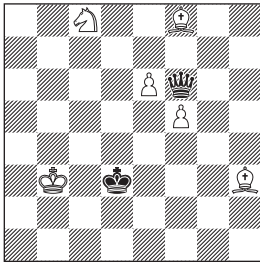
Win (4+3)

1.Be8+ Kg7 [1...Kh7 2.Rg5 e1Q 3.Nf6+ Kh6 4.Rg6#] 2.Rg5+ Kf8 3.Nf6 e1Q [3...d2 4.Rg8+ Ke7 5.Nd5+ Kd6 6.Rg6#] 4.Rg8+ Ke7 5.Nd5+ Ke6 6.Rg6+ Kf5 7.Ne3+ Kf4 8.Rg4+ [8.Ng2+? Kf5 9.Nxe1 d2 10.Rg5+ Kf6 11.Nd3 d1Q=] 8...Kf3 9.Bc6+ Kf2 10.Rg2#mate

Nice miniature which shows domination to the queen, with lines that culminate in mate.

Honorable Mention

E086 Pavel Arestov
(Russia)



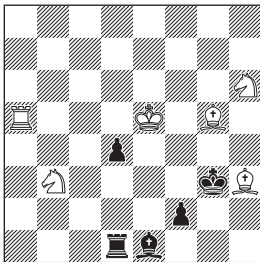
Win (6+2)

1.Bf1+! [1.Bb4? Qa1! 2.e7 Qd1+ 3.Kb2 Qe2+ 4.Ka3 Kc2 5.Nb6 Qa6+ 6.Na4 Qd3+ 7.Nc3 Qa6+=; 1.e7? Qc3+ 2.Ka4 Qxc8=] 1...Kd4! [1...Kd2 2.Bb4+ Kc1 3.Ba3+ Kd2 4.Nd6+-] 2.e7 Qxf5! [2...Qe5 3.Nd6 Qxd6 4.e8Q+-] 3.Bg7+! [3.e8Q? Qe6+ 4.Qxe6= stalemate 1] 3...Kc5 4.e8Q Qe6+ 5.Kc3! [5.Qxe6?= stalemate 2] 5...Qxe8 6.Bd4+ Kd5 [6...Kc6 7.Bb5+++] 7.Bc4+! [7.Bg2+? Ke6=] 7...Kc6 [7...Ke4 8.Nd6+- Fork] 8.Bb5+! Kxb5 9.Nd6+ Kc6 10.Nxe8+-

Entertaining domination game, in which White should avoid the threat of stalemate.

Special Honorable Mention

E080 Pavel Arestov
(Russia)



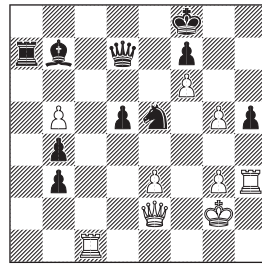
Win (6+5)

1.Ra3! d3! [1...Kxh3 2.Nxd4+ Kg2 e.g. 3.Nhf5 f1N (3...f1Q 4.Ne3+ Kg1 5.Nxf1+-) 4.Bf4 Rb1 5.Ra2+ Kh3 6.Ke4+-] 2.Bf1! [2.Bg4? f1Q 3.Bxd1 Bc3+=; 2.Ng4? Kxh3 3.Nxf2+ Bxf2 4.Nd2 Kg4=] 2...Bc3+ 3.Kf5! Rxf1 4.Nd2! [4.Bf4+? Kg2 5.Ng4 Rb1 / e1=] 4...Bxd2 5.Rxd3+ Be3! [5...Kg2 6.Rxd2 Re1 7.Ng4+- /Bh4+-] 6.Bxe3! [6.Rxe3+? Kg2 7.Re2 Re1=] 6...Rh1 7.Ng4! [7.Bf4+? Kh4! 8.Bg3+ Kh5 9.Bxf2 Kxh6=] 7...f1Q+ [7...Rh5+ 8.Bg5+! Kg2 9.Rd2+-; 7...f1N 8.Bd4+ /f4- .Kg2 9.Rb3 Ng3+ 10.Kg5+-] 8.Bf2+! [8.Bf4+? Kh4=] 8...Kg2 9.Rg3#mate

Completion in mate with self-block, with tries and complementary variations. A nice and entertaining puzzle to solve.

Special Honorable Mention

E101 Peter Krug
(Austria)



Win (9+10)

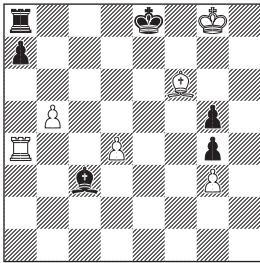
1.Qxh5 d4+ [1...Ra2+ 2.Kg1 Nf3+ 3.Kh1+-] 2.e4 Bxe4+ [2...Ra2+ 3.Kg1 Nf3+ 4.Kh1 Qxh3+ 5.Qxh3 Kg8 6.g6 Rh2+ 7.Qxh2 Nxh2 8.Kxh2+-] 3.Kg1 Nf3+ 4.Qxf3 Qxh3 [4...Bxf3 5.Rh8#] 5.g4! Ra1 6.Qxh3 Rxc1+ 7.Kf2 Rc2+ 8.Ke1 Rc1+ 9.Kd2 Rc2+ 10.Kd1 Ke8 11.Qxb3! [11.Qg3? b2 12.Qb8+ Kd7=]

11...d3 12.Ke1 Re2+ 13.Kf1 [13.Kd1? Bf3!=] 13...Bg2+ 14.Kg1 d2 15.g6 fxc6 16.f7+ Ke7 17.Qxb4+ Kxf7 18.Qc4+ Re6 19.Qf4+-

Tactical content, with the variations that culminate in mate and strategic, to prevail by the minimum difference (Q vs. RB).

Special Commendation

E082 Bizya Buyannemekh (Mongolia)



Black to Move, Win (6+6)

BTM 1...Be1 [1...Rb8 2.Rxa7 Bb4 3.Bxg5 Rxb5 4.Rg7 Bf8 5.Rg6 Bd6 6.Bh4 Kd7 7.Rxg4+-] 2.Be5 a5! [2...0-0-0+ 3.Kf7 Kb7 4.Ke7+-] 3.Rc4! [Try: 3.bxa6? Bxg3! 4.Bxg3 0-0-0+! 5.Kf7 Rxd4 6.Ra2 (6.Ra5 Rd5 7.Rxd5= stalemate) 6...Rd2 7.Ra1 Rd1! (7...Rd7+? 8.Ke6+-) 8.Rxd1= stalemate; or 3.Kg7? 0-0-0 4.Rc4+ Kb7 5.Kf7 Bb4 6.Rc6 Rd5=] 3...Ke7+ [3...Kd7+ 4.Kf7 Ra7 5.b6 Rb7 6.Bc7+-] 4.Kg7 Ra7 5.b6 (ab) [5.Kg6? Ke6 6.Rc6+ Kd5 7.Ra6 Rb7=] 5...Rb7 6.Bc7 (ba) 6...Ke6 [6...Bxg3 7.Bxg3 Rxb6 8.d5+-] 7.Rc5! Bxg3 8.d5+! Kf5 9.Rc6! [9.Kf7? Bd6 10.Rc2 g3 11.Ke8 g2 12.Rxg2 Bxc7 13.bxc7 Rxc7=] 9...Ke4 [9...a4 10.Kf7 a3 11.d6 a2 (11...Bxd6 12.Rxd6 a2 13.Rd1+-) 12.d7 a1Q

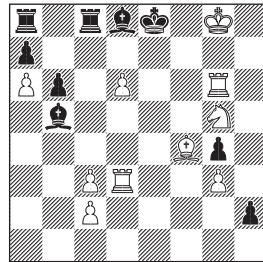
13.d8Q+-] 10.d6 Bxd6 [10...Kd5 11.d7 Kxc6 12.d8Q+-] 11.Rxd6!+-

In an appropriate recreation of a study by the author, the elimination of the threat of stalemate in the black counterplay is presented.

SECTION 2) DRAW-STUDIES

1st Prize

E081 Jan Timman (Netherlands)



Draw (10+9)

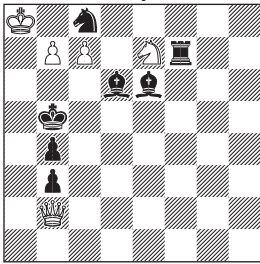
1.Rg7! [1.d7+? Bxd7 2.Rg7 Be7 3.Re3 Be6+ 4.Rxe6 Kd7+ 5.Kf7 h1Q 6.Rxe7+ Kc6 7.Ne6 Kb5 8.Nc7+ Ka4 9.Nxa8 Qd5+-+] 1...Bc4+ 2.Kh8 h1Q+ [2...Bf6 3.d7+ Kd8 4.dxc8Q+ Kxc8 5.Rd1 Bd5 6.Ne6 Bxe6 7.Rh1=] 3.Nh7 Bf6 4.Re3+! [4.d7+!? Kd8 5.dxc8Q+ Kxc8 6.Rdd7 Bxg7+-+] 4...Kd8 5.Re8+! Kxe8 6.d7+ Kd8 7.Bc7+! Kxc7+ [7...Rxc7 Stalemate] 8.d8B+! [8.dxc8Q+ Kd6!+-; 8.d8Q+ Kc6!+-] 8...Kc6= Stalemate with 3 selfpins.

A notable study from the artistic point of view. It contains the promotion of a bishop, tries , lateral variations, and a nice stalemate with nailed pieces.

2nd Prize

E098

Marco Campioli
(Italy)



Black to Move, Draw (5+7)

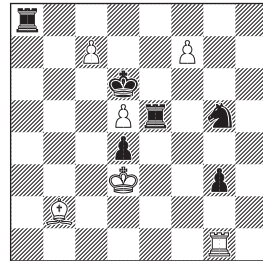
BTM 1...Nb6+! [1...Rxe7 2.Qe2+=] 2.Ka7! [2.Kb8? Rxe7+-] 2...Bxc7! [2...Rxe7 3.Qe2+!=] 3.Qe2+ Bc4 [3...Nc4 4.Qxe6 ±] 4.Qh5+! [4.Qe4? Rf6 5.b8Q Bxb8+ 6.Kxb8 Nd7+ /Re6-+] 4...Ka4 5.Qc5! Bb8+! [Main : 5...Rxe7 6.Qxe7 Nd5 7.Qg7! Bb6+ (7...Nc3 8.Qxc7 Nb5+ 9.Kb6 Nxc7 10.b8Q b2 11.Qxc7 b1Q 12.Qxc4=) 8.Ka8! Nc3 9.Qd7+ /g2 9...Ka3 10.b8Q Bd5+ 11.Qxd5 Nxd5 12.Kb7! b2 13.Qa8+ Kb3 14.Qg8 b1Q (14...Kc4 15.Kc6 b1Q 16.Qxd5+ Kc3 17.Kxb6=) 15.Qxd5+ Ka4 16.Qc6+ Ka3 17.Kxb6= study within a study; 5...b2 6.Qxc7 b1Q 7.b8Q Nd5 8.Qe8+ Kb3 9.Qxc4+ Kxc4 10.Qc6+ Kb3 11.Qxd5+=] 6.Kxb6! [6.Kxb8!? Nd7+ 7.Kc8 Nxc5-+] 6...b2! 7.Qxc4 [7.Nd5? b1Q! 8.Qa5+ Kb3 9.Qxb4+ Kc2! 10.Ne3+ Kc1-+; 7.Nc6? Bc7+ 8.Ka7 b1Q 9.Qxc4 Rf5! 10.Qa6+ Kb3 11.Nd4+ Kc3 12.Nxf5 Qg1+! 13.Ka8 Qg8+-] 7...Rf6+! [7...b1Q 8.Qb5+ /QxR=] 8.Nc6! [8.Kc5? Ba7+ 9.Kd5 b1Q-+] 8...b1Q 9.Qb5+ [9.Qa6+? Kb3 10.Qe2 Rxc6+ 11.Kxc6 Qc2+-+] 9...Ka3 10.Qa5+ Kb2 11.Qxb4+ Ka1 12.Qxb1+ Kxb1 13.Kb5/c5Bc7! 14.b8Q Bxb8 15.Nxb8=

Ingenious combination of the lines that lead to the positional draw. The main line is remarkable, with its univocal sequence.

3rd Prize

E091

Peter Gyarmati
(Hungary)



Draw (6+6)

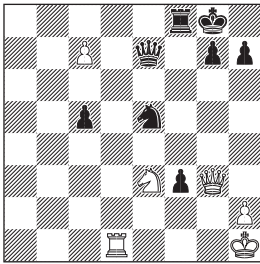
1.f8Q+! [Trials : a) 1.Ra1? Rc8 /h8 2.f8Q+ Rxf8 3.Ba3+ Kxd5 4.Bxf8 Re3+ 5.Kc2 Rc3+ 6.Kb2 Ne6! 7.Ra5+ Ke4 8.Bd6 g2!-+; b) 1.Rc1? Re3+! 2.Kxd4 Rf3 3.c8Q Rxc8 4.Rxc8 g2!-+] 1...Rxf8 2.Ba3+ Kxd5 [main : 2...Kxc7 3.Bxf8 Nf3 4.Rxg3! (4.Rg2? Re3+ 5.Kc4 d3 6.Bb4 Nh4 7.Rg1 g2 8.Bc5 Rh3 9.Kc3 Rh1 10.Kxd3 Nf3 11.Rxg2 Ne1+-+) 4...Re3+ 5.Kc4! (5.Kc2? d3+-+) 5...Nd2+ (5...Ne5+ 6.Kxd4=) 6.Kxd4 Rxg3 7.Bd6+ Kxd6= ideal stalemate] 3.Bxf8 Re3+ 4.Kc2! [4.Kd2? Ne4+-+] 4...Rc3+ 5.Kb2! [5.Kb1? Ne4 6.Rc1 Nd2+ 7.Kb2 g2 8.Rg1 Nc4+ 9.Kb1 Ne3-+] 5...Ne4 6.Rc1! Rxc1 7.Kxc1=

Entertaining game with interesting tries, culminating in ideal stalemate and positional draw.

Special Prize

E092

Peter Krug
(Austria)



Draw

(6+8)

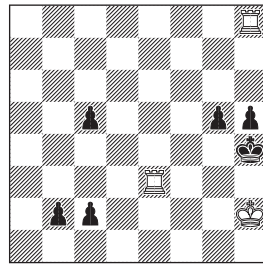
1.Nf5! [1.Rd5? Ng6 2.Rf5 Rc8 3.Qxf3 Qxc7-+; 1.Nd5? Qe6 2.Ne3 f2!-+]
1...Qxc7 2.Nh6+ Kh8 3.Qxe5 Qc6!
[3...Qxe5 4.Nf7+ Kg8 5.Nxe5=] 4.Nf7+ Kg8 5.Qd6! [try 5.Nd8? Qa8 6.Qe6+ Kh8 7.Nc6 f2 8.Kg2 c4 9.Qxc4 Qe8! 10.h3 Qe1! (10...h6? 11.Nd8 Qg6+ (11...Qh5 12.Qd3 Qg5+ 13.Kh1 Qe7 14.Rf1 Rxd8 15.Qg3=) 12.Qg4 Qd3 13.Rf1 Qxd8 14.Rxf2=) 11.Qf7 Qg1+! 12.Rxg1 fxg1Q+ 13.Kxg1 Rxf7-+] 5...Qa8 6.Nh6+ Kh8 7.Qxf8+! [7.Qd8? gxh6!-+] 7...Qxf8 8.Rd8 Qxd8 9.Nf7+ Kg8 10.Nxd8 c4 11.Ne6 [11.Nb7 or] 11...c3 12.Nc5 [12.Nd4? g5-+] 12...c2 [12...g5 13.Kg1=] 13.Nd3! =

Tactical game with appropriate tries. An attack on castling is shown, with the aim of arriving at an original position of equality.

Special Prize

E084

Jan Timman
(Netherlands)



Draw

(3+6)

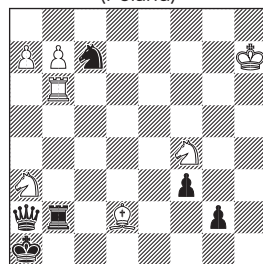
1.Rf8! [1.Re4+? g4 2.Re5 g3+ 3.Kg2 c1Q-+] 1...g4 [1...c1Q 2.Rh3+ Kg4 3.Rg3+=] 2.Rg8! c4 [2...c1Q 3.Rh3+ gxh3 4.Rg4+ Kxg4= stalemate] 3.Rg3!! [3.Rg6? c1B!-+] 3...c1B! [3...c1Q 4.Rh3+ gxh3 5.Rg4+ hxg4 Stalemate] 4.Rb8 c3 [4...Bf4 5.Rxb2 Bxg3+ 6.Kg2! =] 5.Rxc3 Bf4+ 6.Kg2 Bxb8 7.Rb3 Be5 8.Rb5 Bf6 9.Kh2! [9.Kf2? Kh3-+] 9...Bd4 10.Kg2 Bc3 11.Kf2! [11.Kh2? g3+ 12.Kg2 Kg4-+] 11...g3+ 12.Kf3 Bd4 13.Kg2 Kg4 14.Rb4 =

An original position, in which figures of stalemates are presented. The surprise is the promotion of a bishop, and the position of equality is achieved with notable univocal movements.

Honorable Mention

E096

Andrzej Jasik
(Poland)



Draw

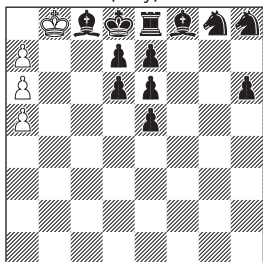
(7+6)

1.Nc2+! [1.Be3? Qf7+ 2.Kh6 Rxb6+-+;
 1.Bc3? Qf7+ 2.Kh8 Qe8+ 3.Kh7 Qe4+
 4.Kh8 g1Q 5.Nc2+ Kb1 6.Rxb2+ Kc1
 7.Rb1+ Kxc2 8.Rxg1 Qxb7-+; 1.Rxb2?
 Qf7+ 2.Kh6 Qf8+ 3.Kh7 Qf5+ 4.Kh6
 g1Q 5.Rb1+ Qfxb1 6.Nc2+ Qxc2
 7.a8Q+ Nxa8 8.bxa8Q+ Kb2 9.Qb7+
 Ka3-+ 10.Qb4+ Ka2 11.Qa5+ Kb2
 12.Qb4+ Qb3 13.Nd3+ Ka2 14.Nc1+
 Qxc1 15.Qxb3+ Kxb3 16.Bxc1 f2-+]
 1...Rxc2 2.Be3! g1Q! [2...Qf7+ 3.Kh6!
 Qf8+ 4.Kh7 g1Q! 5.Bxg1 f2 6.Bxf2 Rxf2
 7.Rb1+! (Try : 7.a8Q+? Nxa8 8.b8Q
 Qe7+ 9.Kg8 Nxb6-+) 7...Ka2 8.a8Q+
 Nxa8 9.b8Q=] 3.Bxg1 f2 4.Bxf2 Rxf2
 5.Kh6!! Rxf4 [5...Rh2+ 6.Kg5 Qa5+
 7.Kg4 Qxb6 8.a8Q+ Kb1 9.b8Q Nxa8
 10.Qxa8=] 6.a8Q! [Try: 6.Rb1+? Kxb1
 7.b8Q+ Ka1!-+] 6...Nxa8 7.Rb1+!
 [7.b8Q? Qh2+-+] 7...Kxb1 [7...Qxb1
 8.bxa8Q+ Qa2 9.Qh1+ Qb1 10.Qa8+=]
 8.b8Q+ Qb2 9.Qxf4=

It is striking that the number of tries in which, with univocal sequences, Black achieves victory. Original and interesting study that deserves its inclusion in this palm.

Special Commendation

E099 Daniele Gatti
 (Italy)



Draw

(4+12)

1.a8R! [1.a8Q? Nf6! 2.Qf3 Bxa6 3.Ka7
 Nd5 4.Qb3 Nc7 5.Qb8+ Bc8 6.Qb6
 Bg7 7.Kb8 Rf8 (7...Rg8 8.Qxc7+ Ke8
 9.Qxc8+ Kf7 10.Qxg8+ Kxg8 11.a6
 e4 12.a7 e3 13.a8Q d5) 8.Qxc7+ Ke8
 9.Qxc8+ Kf7 10.Qxf8+ Kxf8 11.a6
 e4 12.a7 Ng6 13.a8Q d5 14.Kc7+
 Kf7 15.Kxd7 e3 16.Qe8+ Kf6 17.Qa8
 Ne5+ 18.Ke8 e2 19.Qa1 d4 20.Qh1 d3
 21.Qe4 Kg5-+] 1...Bg7! [1...d5 2.a7
 d6 3.a6 with stalemate] 2.a7 Rf8 3.a6
 Ke8 4.Kc7! [4.Kxc8? Kf7+-+] 4...Rf4
 5.Rxc8+ Kf7 6.a8Q=

An example of rook promotion, to achieve a stalemate position.

Salta, Argentina, March 17, 2019

Mario G. García

Judge

[From the Editor: Thanks to Mario for a very quick and illuminating award. It will be finalized after usual 3 months.]

Definitions

<一般的通則>

: 最終目的がメイトであることを表示する。

= : 最終目的がスタイルメイトであることを表示する。

+ : 最終目的がチェックであることを表示する。

v : 紛れ (try) を表す。個数は、テーマとなる紛れの数を表す。

* : Set Play を表す。オーソドックスやセルフメイトの場合は黒から指し始め、ヘルプメイトの場合は白から指し始める。作意手数から 0.5 手を引いた手数になる。

sols : solutions すなわち「解」のこと。指定された数だけ解があり、これは余詰ではなく、作意設定のうちに入っている。

b) c) ... : 問題図を a) とし、指定のように配置を変えた図を b) c) ... として、いずれも a) と同じ条件で解くこと。

◆盤上にフェアリー駒がある場合、P はそのフェアリー駒にも成れる。

◆キャスリング可能な位置にある K と R は、それが不可能であるという証明ができないかぎりキャスリング可能とみなされる。逆にアンパッサン可能な位置にある P は、直前の手が取られる P が動いたものと証明ができない限りアンパッサン不可能とする。

<問題設定>

Direct (記号無し) : #n では、白から指し始め、n 手で黒をメイトにする手順を求める。黒はそれに抵抗する。

Help (H) : H#n では、黒が白に協力し、n 手で黒をメイトにするような手順を求める。通常黒から指し始める。白から指し始める場合は、0.5 手分を引いた形で表記する。

Helpself (HS) : HS#n では、ヘルプで (n-1) 手指して、そこから S#1 になるよう

な手順を求める。通常白から指し始める。

No Forward Defense : Proca-Retractor などで Forward Defense を禁じたもの。

Parse Series-help (pser-H) : Series-help で、黒が連続して指す手順中にチェックをかけることもでき、その場合は直後に白が 1 手指す、としたもの。

Proca-Retractor -n : 白から戻し始めて、n 手以内で、白が黒を 1 手でメイトにできるような局面を作るのが目的。黒は抵抗する。なお、黒にも白と同様、逆算してから 1 手詰にする権利がある。これを Forward Defense という。

Proof Game (PG) : 実戦初形から始めて、指定された手数で問題図に至るような手順を求める。

Reflex (R) : R ≠ n は、S ≠ n に「自分の手番で、相手を 1 手でメイトにできるときは、必ずその手を指さねばならない」という条件を追加したもの。この追加条件は、白黒の双方に適用される。

Self (S) : S#n では、白から指し始め、白が自分を n 手でメイトにさせるよう黒に強制する手順を求める。

Semi-reflex : reflex の条件を黒のみに適用したもの。

Series-Direct (Series) : Series#n では、白が連続して n 手指し、黒をメイトにする手順を求める。白は最終手を除いて、黒にチェックをかけてはならない。

Series-help (SH) : 黒が連続して指定された手数を指し、それから白が 1 手でメイトなどの目的を達成できるような手順を求める。黒は最終手を除いて、白にチェックをかけてはならない。

Series-helpself (SHS) : 黒が連続して指定された手数を指し、それから白が HS#1 などの目的を達成できるような手順を求める。黒は最終手を除いて、白にチェックをかけてはならない。

Series-self (SS) : 白が連続して指定された手数を指し、それから黒が1手で白をメイト(あるいはスタイルメイト)にするよう強制される手順を求める。白は最終手を除いて、黒にチェックをかけてはならない。

〈フェアリールール〉

Alphabetical Chess: 盤面の柁目に a1, a2, … a8, b1, b2, … h8 という order が付いているとしたとき、すべての着手は、この order でいちばん a1 の近くにある柁目の自駒を動かさなくてはならない。

Anda : K を除く neutral ではない駒は、直接にチェックをかけたとき、neutral 駒になる。K を除く Neutral 駒は、直接にチェックをかけたとき、そのチェックをかけた側の色の駒になる。

Annan Chess : 俗に言う「安南」ルール。縦の筋に同じ色の駒が重なっているとき、上の駒は下の駒の働きになる。ただし、1段目に P が移動するのは禁手。3段目の駒が P の働きをすることによるダブルステップはできない。3段目の駒が P の働きをすることによるアンパサンは可。

AntiCirce : 駒を取るとき、取る駒 (K を含む) は初形位置に戻り、取られた駒は盤上から消える。取る駒の初形位置が何らかの駒(取る駒も含む)によって占領されているときは、駒が取れない。細則は Circe に準じる。

AntiCirce Calvet : 取る駒がその初形位置に着地するような取りも許す Anticirce。

AntiCirce Cheylan : 取る駒がその原形位置に着地するような取りは禁手とした Anticirce。

AntipodeanCirce : 取られた駒は取られた位置から (±4, ±4) の地点に復活する。8段目に発生した P は任意の駒に成れ、その選択は取りを行った側が決められる。1段目に発生した P は動けない。

Argentinian Chess : 駒を Argentinian

Piece に置き換えたチェス。Q は Senora で置き換えられる。P は通常の駒ではなく、Argentinian Piece になる。

Black Checks : 黒はチェック以外の手を指せない。チェックする手がない場合はパスで、白は続けて指せる。

Chameleon Circe : 取られた駒が Q,R,B,S の場合はいったん $S \rightarrow B \rightarrow R \rightarrow Q \rightarrow S$ と種類を変え、可能ならその駒の初形位置に再生する。

Checkless Chess : チェックメイトにできるときを除いて、双方ともチェックをかけてはならない。

Circe : K 以外の取られた駒は初形位置に再生する。R および S の初形位置は取られた場所の色によって決まる。P の初形位置は取られた筋の2段目。フェアリー駒の初形位置は取られた筋の8段目。取られた駒の初形位置が何らかの駒によって占領されているときはその駒は通常通り盤上から消える。初形位置に戻った R はキャスリング可能。初形位置に戻った P は2歩進むことが可能。

Circe Assassin : 取られた駒は、その初形位置がふさがっている場合でも、そこに再生する。その場合に、元いた駒は消える。初形位置にある駒は取ることができない。

Circe centripede : 取られた駒は、中央のマス目4つ (d4, d5, e4, e5) でいちばん近い場所に再生する。そのマス目がふさがっている場合には、取られた駒は消える。

Circe Parrain : 地点 a で駒が取られたとき、取られた駒はその直後の指し手(移動ベクトルを v とする)によって、地点 a+v に再生する。再生場所が盤の外だったり、そこが別の駒によって占領されている場合は、再生しない。直後の指し手がキャスリングの場合、その移動ベクトルは K と R それぞれの移動ベクトルを足す(つまり 0-0 は 0ベクトル)。1段目に再生した P は1マスしか前に進めない。8段目に P が再生すると、その瞬間

に成る。細則は Circe に準じる。

Eiffel Chess : P → S → B → R → Q → P の順で、その駒によって取りをかけられていると動けなくなる。

Glasgow Chess: ポーンが2段目（7段目）で成らなければいけないとしたもの。

Gravitation : P と K 以外の駒は、着手後に1段（白は下に、黒は上に）すべり落ちる。そこに相手の駒があれば取れる。すべり落ちることができないような着手は禁手。

Growing Men : 駒の移動距離はその駒が前回動いた距離未満であってはならない、としたルール。

Leffie : Eiffel の反対。Eiffel Chess における paralysis が起こるような着手は禁手。

Masand : チェック（開き王手を除く）をかけたとき、その駒の利きにある敵味方の駒は、Kを除いてすべて色が変わる。

Patrol Chess : 紐のついていない駒は、駒を取ることもチェックをかけることもできない。

Transmuted Kings : チェックをかけられた K は、その瞬間にチェックをかけた駒の働きをするというルール。特に断らない限り、このルールは双方の K に適用される。

Vertical Millor Circe : Circe Inverse と同じ。K 以外の取られた駒は、d/e 筋の境界線を軸にして、Circe で発生する位置と対称の位置に再生する。細則は Circe に準じる。

WandelSchach : 駒が1段目、2段目、7段目、8段目に入ると、その原形位置の駒および色になる。K は変化しないが、何かの駒が e1 または e8 に入ることによって K になることもある。

<フェアリー駒>

Andernach Grasshopper : ある駒を飛び越して動いたとき、その踏み台となった駒の色が変わって相手の駒になる Grasshopper。

Camel : (1,3)-Leaper。

Contra Grasshopper : Grasshopper のように1枚駒を飛び越した後、そのまま向きを変えずに、R または B のように動く駒。

Double Grasshopper : 一度着地した地点からもう一度跳ぶ Grasshopper。最初の着地地点では駒は取れない。局面を変化させない跳ね方はできない。

Dragon : S+P。

Duplicate Grasshopper : 動いたときに、その駒がいた初形位置にもう1枚追加で再生する Grasshopper。

Equihopper : 任意の方向に駒を1枚飛び越して、その線上で等距離の地点に着地する駒。線上に余計な駒が挟まっている場合、跳べないとした駒を単に Equihopper と呼び、跳べるとした駒を Non-Stop Equihopper という。

Grasshopper : Q の筋で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する駒。そこに相手の駒があれば取れる。

Imitator : 着手と同じ距離・方向に動き、空いているマスに着地する駒。盤上の駒を飛び越すことはできない。Imitator の着地点が塞がっていたり、盤上に出てしまうような着手は禁手。

Invisible : 盤上に存在するが、見えない駒。駒種と位置の両方が確定した瞬間に、その透明駒は透明性を失い普通駒となる。駒取りやメイトは、証明なしには主張できない。メイトとは、解答手順を成り立たせるようななどのような Invisible の代入に対しても、最終局面が通常のメイトになっていることを指す。

Kobul King : 特殊な Royal 駒。自軍の P ではない駒 X が取られたとき、この Royal 駒の性能は X に変わる（これを KX と表記）。自軍の P が取られたときは、通常の K に変わる（これを KK と表記）。KK の状態のときにのみキャスリングは可能。

Leaper : S の様な動きの駒の総称。(x,y)-Leaper は駒の居る位置から縦横に (x,y) ま

たは (y,x) だけ離れた地点に着地する。間に駒があっても飛越えられる。例えば S は (1,2)-Leaper。

Locust : Q の筋で、相手の駒を 1 枚飛び越して、その直後の地点に着地する駒。着地点は空いている必要があり、かつ飛び越された駒は取られて消える（取りなしで動くことはできない）。

Moose : Q の筋で、駒を 1 枚飛び越してから、進行方向と 45 度を成す地点に着地する駒。そこに相手の駒があれば取れる。

Neutral : 白および黒のどちらからも動かせる駒。取ったり取られたりすることもできる。n の記号で表し、nQ という風に表記する。nP は成ると Neutral 駒に成る。ただし、普通の P が Neutral 駒に成ることはできない。フェアリー駒が盤上に現れている場合は、nP はその Neutral フェアリー駒に成れる。

Nightrider : (1,2)-Rider。

Pao : Chinese piece の一つ。R のように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ飛び越してその先（直後でなくてもいい）にある駒を取る。

Rider : R や B など一定の方向にどこまでも進めるが駒にぶつかるとその先には進めない駒の総称。(x,y)-Rider は進める方向が (x,y)-Leaper の延長となる。例えば R は (0,1)-Rider。

Royal : K の代わりをする駒。チェックやメイトの概念を、K ではなく Royal 駒に適用する。

Saltador : Argentinian Chess において S の代わりをする駒。経路の 2 箇所がブロックされている場合には、駒取りなしで跳べる。経路の 2 箇所がブロックされていない場合には、跳んで駒を取れる。

Total Invisible : 駒種と位置のみならず、色もわからない透明駒。細則は Invisible の項に従う。

Undefined piece : 駒の位置だけがわかっ

ているもの。

Vao : Chinese piece の一つ。B のように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ飛び越してその先（直後でなくてもいい）にある駒を取る。

第 81-84 号解答通算成績

	D	E	H	S	F	R	U	計
Max	150	45	410	55	420	100	70	1250
井上順一	25	3	125.5	22	159	37	35	406.5
内田 昭	20		247		39	5		311
及川弘典							60	60
小畑 勉	20		108.5	12				140.5
九尾	30		47.5				20	97.5
小林看空	39		405		50		10	504
駒井信久			390	40.5			45	475.5
齋藤光平			110				35	145
塩見 亮	15	<u>20</u>	286	10				331
則内誠一郎	58		410	23	216	10	30	747
原岡 望	20		22.5				25	67.5
星野健司	134		399.5	35			40	608.5
水野勝久	45		148.5	15	54		25	287.5
宮島亮一	29		10					39
若島 正				15				15
渡邊一雄			267					267
Klaus Wenda						30		30

Vol.20 (69-72号) の通算で、全部門のトータルでは、則内誠一郎さんが 747 点 (60%) の成績でトップになりました。おめでとうございます。特筆すべきは、Hコースで 410 点の満点！
 則内さんには誌代 1 年分を入帳します。以下、星野健司さん (608.5 点、49%)、小林看空さん (504 点、40%)、駒井信久さん (475.5 点、38%) と続きました。

上の表では、各セクションの皆勤の方を太字で示しています。各セクションで、成績優秀者の中から 1 名を選び、賞 (The Problemist など海外誌のバックナンバー 1 部) をさしあげることにしました。アンダーラインを付してあるのが受賞者です。

1 題だけでもかまいませんので、ぜひ多数の方々の解答参加をお待ちしています。